

公募研究シリーズ

②9

# 退職後勤労者の家族および 近隣との「つながり」と高齢期の 健康状態に関する調査研究

清野 薫子

東京医科歯科大学大学院  
医歯学総合研究科  
国際保健医療協力学所属講師

全労済協会

## 発刊にあたって

本報告書は、2010年度全労済協会の公募委託調査研究テーマ「絆の広がる社会づくり」で採用となった、「退職後勤労者の家族および近隣との『つながり』と高齢期の健康状態に関する調査研究」の研究成果です。

都市部の勤労者の多くが、通勤時間の長さや残業などで家族と過ごす時間が短く、地域社会との係わりも希薄であることが、各種調査からも明らかになっています。

当協会が実施した「勤労者の生活に関するアンケート」の調査結果でも、コミュニケーションを「よくとっている」、「まあとっている」の回答割合が高かったのは、「職場の人」、「親しい友人」であり、それに続き「親」、「配偶者」、「子」となっています。他方、「とっていない」との回答比率が高かったのは、「地域の人」、「近所の人」となっています（全労済協会2011年調べ）。

勤労者も退職とともに職場中心の生活から、地域社会が生活の中心となり、また高齢期の生活においては、医療、介護、生活支援などを含む多種・多様な社会的支援が必要となってきます。

本研究は、都市部における高齢者の家族や近隣とのつながりを調査することにより、高齢者の実態を把握し、高齢者の健康状態や医療・介護、生活支援ニーズとの関連を明らかにし、超高齢化時代における地域社会のまちづくりや高齢者の生活支援を考えるうえで示唆を提供することを目的としています。

調査は首都圏および地方都市、さらに東日本大震災被災地の地域居住高齢者を対象として、健康づくり推進員、保険推進員の協力を得ての聞き取り調査、また介護サービス、生活支援サービスに取り組む事業者への調査を実施し、高齢者の生活実態を分析しています。

調査からは近所づきあいの種類の多さとよい健康状態には関連があることがあらためて示され、退職後のつながりの形成には、住まい方、在職時の働き方が複雑に影響していることも明らかになりました。そして地域での高齢者の生活支援はそれらの要因を考慮したケアサポート体系、体制が求められると指摘します。

本報告書が地域で高齢者の生活支援に携わっている関係者や研究者、協同組合など多くの皆様の諸活動や研究の一助となれば幸いです。

「公募委託調査研究」は、勤労者の福祉・生活に関する調査研究活動の一環として、当協会が2005年度から実施している事業です。勤労者を取り巻く環境の変化に応じて毎年募集テーマを設定し、幅広い研究者による多様な視点から調査研究を公募・実施することを通じて、広く相互扶助思想の普及を図り、もって勤労者の福祉向上に寄与することを目的としています。

当協会では研究成果を「公募研究シリーズ」として順次公表しています。

(財)全労済協会

I. はじめに .....	1
1. 研究の目的・意義 .....	1
2. 調査の構成 .....	1
II. 家族・地域とのつながり及び健康状態についての調査 .....	2
1. 調査方法 .....	2
1. 1 対象高齢者の抽出方法 .....	2
1. 2 対面式聞き取り調査における調査項目 .....	3
1. 3 分析方法 .....	3
2. 調査結果 .....	3
2. 1 対象者の基本属性 .....	3
2. 2 現在の就業形態と在職時の働き方 .....	4
2. 3 対象者の属性、家族・地域におけるつながり、健康状態についてのケース描写 .....	4
2. 4 家族および親族とのつながり .....	38
2. 5 友人や知人、趣味仲間などとのつながり .....	38
2. 6 地域におけるつながり .....	40
2. 7 在職時とのつながりの変化 .....	42
2. 8 健康状態、こころの健康 .....	42
III. 介護サービス・生活支援サービスの利用高齢者の家族および地域に交流関係とサービス 利用についてのケーススタディ .....	44
1. 調査方法 .....	44
2. 調査結果 .....	45
2. 1 回収率 .....	45
2. 2 保健・医療・福祉の支援と地域における交流形態 .....	46
IV. まとめ .....	49
V. 謝辞 .....	50
VI. 参考文献 .....	51
資料 .....	53

# I. はじめに

## 1. 研究の目的・意義

近年、勤労者の多くは労働時間が長くなり家で過ごす時間が減少し、親世代と既婚の子ども世代の同居が少なくなり、地域における近隣関係が希薄化している（内閣府）。しかしながら、勤労者が現役を退職し高齢期となり、在宅での医療や介護などのケアを必要とする際には、様々な人々に支えられ交流を持つことが、その予後や健康水準に大きな影響を及ぼすことが明らかになっている（Berkman, Douglas）。

そこで本研究は、現在の高齢者について、家族や近隣の人々とのきずなやつながりの実際を都市域において調査し、家族や地域とのつながりの数量化を試み、その健康状態や医療・介護ニーズ、生活支援ニーズとの関連を明らかにし、人と人のきずなが疎遠になりつつある現在の都市域における超高齢化時代の地域社会のまちづくりに資するエビデンスを提供することを目的とした。特に、地域調査においては、人と人との関わり方を社会関連価値として扱い、また、社会経済的な生活条件を含む広い生活環境要因を指標化することにより、様々な要因の相関関係を整理して、家族・地域とのつながりと健康との関係を総合的に評価することに重点を置いたものである。

## 2. 調査の構成

本研究において、地域居住高齢者を対象とする家族・地域とのつながり及び健康状態についての聞き取り調査、介護サービス・生活支援サービスの利用高齢者の家族および地域の交流関係とサービス利用についてのケーススタディ調査を実施した。

## Ⅱ. 家族・地域とのつながり及び健康状態についての調査

### 1. 調査方法

#### 1. 1 対象高齢者の抽出方法

包括的な地域保健プログラムに取り組んでいる東京23区内の1地域、および地方都市の2地域を合わせた3地域において、それぞれ5名の健康づくり推進員又は保健推進員の協力を得て調査を行った。対象者は、各健康づくり推進員が調査への協力を依頼し、訪問聞き取り調査への同意が得られた65歳から74歳の地域住民とし75名とした（高齢者5人×健康づくり推進員5人×3地域＝75人）。さらに、東日本大震災により被災した2市に居住する高齢者住民10名（健康づくり推進員を含む5人×2地域＝10人）についても訪問聞き取り調査を行った。調査対象5地域のうち、1地域においては食生活改善推進員による対象者の選出となった。なお、健康づくり推進員による対象者の抽出率は、通算して10年以上の就業経験がある者とした。

調査対象となった5地域の特性は以下の通りであった（図表1）。

図表1 「家族・地域とのつながり及び健康状態についての聞き取り調査」対象地域の特性

	地理的区分	人口	65歳以上 人口割合	産業別就業者割合	町会・自治会加入世帯割合
地域A	東京都23区内	52.8万人	18.6%	1次産業 0.4% 2次産業 12.4% 3次産業 87.2%	52.2%（2010年）
地域B	東海地方	8.7万人	18.1%	1次産業 4.9% 2次産業 40.8% 3次産業 51.6%	71.5%（2010年）
地域C	東海地方	8.1万人	20.7%	1次産業 0.6% 2次産業 34.9% 3次産業 62.9%	68.8%（2009年）
地域D	東北地方	4.3万人	22.6%	1次産業 10.4% 2次産業 26.9% 3次産業 62.7%	不明
地域E	東北地方	16.7万人	24.1%	1次産業 10.1% 2次産業 30.4% 3次産業 58.9%	64.0%（2007年）

## 1. 2 対面式聞き取り調査における調査項目

協力の同意が得られた対象者と事前に訪問日時について調整の上、調査研究実施者および質問調査についてのトレーニングを受けた質問者が対象者を訪問し、質問紙票を用いて地域、人との交流および健康状態について聞き取り調査を行った。

### 【調査項目】

性別、年齢、同居家族の構成、居住年数、退職年齢、退職前の就業形態、現在と在職中（退職5年前）の家族・地域とのつながり

[活動単位：日常会話（対面、電話、メール）、日常的行き来、挨拶（対面、手紙、メール）、食事、祝祭、悩み事の相談、家事の手伝い・身の回りの世話の行き来、有事の連絡]

健康状態：現在の健康状態、こころの健康、要介護認定状況

## 1. 3 分析方法

調査への協力が得られ、聞き取り調査を終了した全85名について事例分析を行った。また、対象者の抽出にあった健康づくり推進員のインタビュー調査の結果に基づき、選出理由と対象者の実態についての照合を行った。

高齢者の家族・親族、居住地の近隣者とのつながりや地縁活動、知人や趣味仲間等との関係についてつきあいの種類、人数、頻度について計測した。家族・親族とのつながりについては、活動単位のパターンを、家族・親族以外の友人や知人、趣味仲間とのつながりについては、種別の合計数を算出した。地域とのつながりについては、8つの活動単位について人数分布を計測し、活動単位種別数の合計を計測し、つながりの数量化を試みた。

家族・親族、友人や知人、趣味仲間、近所の人それぞれとのつながりについて、現在および退職前の5年間について聞き取りを行い、種別数、人数について変化を測定した。なお、退職を伴わない自営業、家族従業者や退職後に再就業している者については、現在から5年前との比較とした。

## 2. 調査結果

### 2. 1 対象者の基本属性

聞き取り調査の対象者85名のうち、男性42名、女性43名であった。対象者の平均年齢は70.4歳（男性69.8歳、女性69.6歳）であり、70歳以上74歳以下の高齢者の割合は51.7%であった。地域別の平均年齢は、地域A 69.8歳、地域B 69.6歳、地域C 69.8歳、地域D 70.4歳、地域E 68.8歳であった。

対象高齢者の婚姻状況は、未婚者5.8%、現在夫または妻がいる配偶者を有する者68.6%、夫または妻と離婚あるいは死別している者25.6%であった。同居家族の構成については、ひとり暮らし20.9%、夫婦のみ52.3%、子ども世帯との同居26.8%であった。地域別にみると、最もひとり暮らしの高齢者が多かったのは地域A 24.0%、子ども世帯と同居の割合は地域Bが最も高く32.0%であった。

## ■ I. 家族・地域とのつながり及び健康状態についての調査

### 2. 2 現在の就業形態と在職時の働き方

対象者85名のうち東日本大震災による被災者10名を除く75名において、現在の就業者は35名であり、そのうち定年等による退職後に就業している高齢者は17名であった。被災者10名のうち1名が定年等を伴わない就業状態にあった。定年等による退職経験者の退職後経過年数の平均は9.6年であった。

在職時の雇用形態は、全体では常勤の職員・従業員が最も多く（39.5%）、続いてパート・アルバイト（18.6%）、契約社員・派遣社員・嘱託（16.3%）となっていた。性別にみると、男性では常勤の職員・従業員が64.3%、自営業・家族従業員が16.7%を占め、女性ではパート・アルバイト37.2%、契約社員・派遣社員・嘱託が27.9%であった。在職時の労働時間は5時間未満16.5%、5～7時間20.0%、7～9時間23.5%、9～11時間24.7%、11時間以上が15.3%であった。通勤時間は、30分未満37.6%、30分～1時間37.6%、1時間以上24.8%であった。女性においては48.8%が30分未満の通勤時間であり、また男性においては35.7%が1時間以上の通勤時間であった。

### 2. 3 対象者の属性、家族・地域におけるつながり、健康状態についてのケース描写

図表2 地域Aに在住する調査対象者の回答内容と推進による抽出理由

	属性、地域における住まい方、働き方、家族・地域とのつきあい、悩みごととその相談相手および現在の健康状態	推進員による抽出理由
1	<p>67歳男性</p> <p>【居住形態】 現在地での居住年数5～10年。妻と離別あるいは死別しており1人暮らし。</p> <p>【就業形態】 現在も会社経営者・役員の仕事をしており、5年前の日平均就業時間は9～11時間、平日の帰宅時間はおおよそ22時以降、片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】 別に住む親族とは、週に1～2回以上電話やメールでのやり取りがあり、冠婚葬祭時に会う。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】 家族以外との付き合いは現在働いているため、仕事関係の人と週に1～2回以上会っており、また、学生時代の友人や幼馴染と月に1～2回以上のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】 挨拶をする人6～10人程度、立ち話をする人1～2人、葬儀の手伝いをする人1～2人。町内会・自治会の活動には年に数回参加している。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】 5年前にはなかった学生時代の友人や幼馴染とのやり取りがある。近所で会った時に挨拶をする人の数が、5年前の11人以上から現在の6～10人に移行。</p> <p>【外出頻度】 ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】 だいたい良い。日頃のストレスはほぼない。</p> <p>【悩み事】 「今後の自分の健康状態」「頼れる人がおらず一人きりの暮らしになること」に該当し、相談できる相手は知人や友人。</p>	1人暮らしであるため
2	<p>66歳男性</p> <p>【居住形態】 現在地での居住年数5～10年。未婚、1人暮らし。</p>	地域のサークル活動に参加

	<p>【就業形態】58歳で退職、退職5年前の日平均就業時間は9～11時間、平日の帰宅時間はおおよそ22時以降。片道通勤時間は1時間以内。</p> <p>【現在の家族親族との付き合い】別に住む親族とは、週に1～2日会って会話をし、週3～4日電話やメールでのやり取りがある。冠婚葬祭時に会う。</p> <p>【現在の家族以外との付き合い】趣味、スポーツなどの仲間と月に1～2回以上会っている。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人3～5人程度、数日の不在時声をかける1～2人、葬儀の手伝いをする人1～2人。町内会・自治会の活動には月に1回程度参加、地域の自主的サークル活動に月1回程度参加している。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所との付き合いの比較】退職5年前にはなかった地域の自主的サークル活動が加わった。</p> <p>【外出頻度】ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。日頃のストレスはまったくない。</p> <p>【悩み事】「現在の自分の病気」「今後の自分の健康状態」に該当し、相談できる相手は特にいない。</p>	<p>していることを知人づてに知っていたため</p>
3	<p>72歳女性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数10～20年。夫と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】経営者・役員をしており65歳で退職、退職5年前の日平均就業時間は9～11時間、平日の帰宅時間はおおよそ22時以降。片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族との付き合い】同居家族である夫と週に5日以上会話、食事を共にし、同居外家族とは週3～4日電話やメールでのやり取りがあり、親族とは正月やお盆、冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外との付き合い】全項目に当てはまる人なし。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人6～10人程度、立ち話をする3～5人、数日の不在時声をかける1～2人、葬儀の手伝いをする人3～5人。町内会・自治会の活動には年に1回程度参加。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所との付き合いの比較】退職5年前には、週3～4日であった同居家族との会話、食事の頻度が高くなった。挨拶をする人、立ち話をする人の数が1～2人から増えた。</p> <p>【外出頻度】週に2～3回程度。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。要支援1。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「家族の病気」「自分の今後の健康状態」「現在の家族の介護や生活の世話」に該当し、相談できる相手は配偶者、兄弟姉妹。</p>	<p>挨拶程度のつきあいがあるが、長年仕事で不在の時間が多く、地域活動で見かけることが少なかったため</p>
4	<p>74歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数10～20年。妻と離別あるいは死別しており子、孫と同居。</p> <p>【就業形態】60歳で退職。退職5年前の日平均就業時間は9～11時間、平日の帰宅時間はおおよそ20～22時。片道通勤時間は1時間以内。</p> <p>【家族親族との付き合い】同居家族である夫と週に5日以上会話、食事を共にし、同居外家族とのつきあいはない。</p> <p>【近所との付き合い】挨拶をする人1～2人程度。</p>	



## Ⅱ. 家族・地域とのつながり及び健康状態についての調査

	<p>【外出頻度】週に2～3回程度。</p> <p>【健康状態】あまり良くない。要介護3。日頃のストレスしばしばあり。</p> <p>【悩み事】「現在の自分の病気」に該当し、相談できる相手は兄弟姉妹。</p>	
5	<p>68歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数20年以上。妻と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】自営業で現在も働いている。5年前の日平均就業時間は9～11時間、平日の帰宅時間はおおよそ22時以降。片道通勤時間は1時間～1時間半。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居家族である妻と週に5日以上会話、週に3～4日食事を共にし、同居外家族とは月1～2回電話やメールでのやり取りがあり、親族とは正月やお盆、冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】仕事関係者と週に1～2回以上会い、学生時代の友人、趣味スポーツの仲間とつきあいがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人6～10人程度。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】変化なし。</p> <p>【外出頻度】毎日。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「今後の自分の健康状態」「今後の家族の介護や生活の世話」に該当し、相談できる相手は配偶者、知人や友人。</p>	自分の隣人の知人
6	<p>69歳女性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数5～10年。夫と離別あるいは死別し1人暮らし。</p> <p>【就業形態】60歳で退職、退職5年前の日平均就業時間は7～9時間、平日の帰宅時間はおおよそ19～20時。片道通勤時間は1時間以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】近居家族と週に1～2日メールでのやり取りがある。親族とは正月やお盆、冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】友人や幼馴染と月に1～2回以上の電話やメールのやり取りあり。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする6～10人程度以外の日頃のつきあいはない。町内会・自治会の活動には年に1回程度参加。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】退職5年前には、同居家族との会話、食事が週に3～4日程度あり、その後夫と離死別し同居近居家族との対面の会話、食事が無くなったとみられる。</p> <p>【外出頻度】週に2～3回程度。</p> <p>【健康状態】あまり良くない。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「経済的なこと」「今後の自分の健康状態」相談できる相手は特にない。</p>	夫の死別後、1人暮らしになっているのを知っていたため
7	<p>72歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数10～20年。3世帯同居。</p> <p>【就業形態】60歳で退職、退職5年前の日平均就業時間は11時間以上、平日の帰宅時間はおおよそ22時以降。片道通勤時間は1時間～1時間半。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居家族と週に5日以上会話および食事、1～2日外出を共にし、同居外家族とは週3～4日電話やメールでの</p>	対象者の家族とは挨拶程度のつきあいがあるが、対象者本人はたまに見かける

	<p>やり取りがあり、親族とは正月やお盆、冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】すべての項目において該当者なし。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人1～2人程度以外の付き合いはない。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】退職5年前には、週3～4日であった同居家族との会話、食事の頻度が高くなった。挨拶をする人、3～5人から減り、立ち話をする人の数が1～2人から「いない」になった。</p> <p>【外出頻度】週に2～3回程度。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「今後の自分の健康」に該当し、相談できる相手は特にいない。</p>	<p>が、近所づきあいがどの程度あるか不明だったため</p>
8	<p>73歳女性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数5～10年。夫と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】日に5～7時間未満のパート・アルバイトを60歳で退職、退職5年前の日平均就業時間は9～11時間、平日の帰宅時間はおおよそ22時以降。片道通勤時間は1時間以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居家族である夫と週に5日以上会話、食事を共にし、同居外家族とは月1～2日電話やメールでのやり取りがあり、親族とはつきあいが無い。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】子どもを通じての知人と月に1～2回以上のやりとりがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人6～10人程度、立ち話をする3～5人、数日の不在時声をかける1～2人、葬儀の手伝いをする人1～2人。町内会・自治会の活動には年に1回程度参加。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】退職5年前から、立ち話をする人が減った。</p> <p>【外出頻度】週に2～3回程度。</p> <p>【健康状態】あまり良くない。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「経済的なこと」「住居の居住環境」「自分の病気」「今後の家族の介護や生活の世話」に該当し、相談できる相手は配偶者、兄弟姉妹。</p>	<p>自治体の活動で知っており、近所づきあいの程度として標準的であると考えたため</p>
9	<p>68歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数20年以上。妻と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】65歳で退職後、嘱託で就業している。退職5年前の日平均就業時間は11時間以上、平日の帰宅時間はおおよそ22時以降。片道通勤時間は1時間～1時間半。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居家族である妻と週に3～4日食事を共にし、週に1～2日共に外出している。同居外家族との日常のやり取りはなく、親族とは冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】職場、友人、子どもを通じての知人、趣味スポーツなどの仲間と月に1～2回以上やり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人6～10人程度、立ち話をする3～5人、地域で活動するボランティアに月1回程度参加。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】挨拶をする人数は</p>	<p>夫婦でハイキングに出かけたり、ボランティア活動に従事するなど、活動的であることを、間接的に知っていたため</p>

## II. 家族・地域とのつながり及び健康状態についての調査

	<p>変わらず、立ち話が無しから増えた。ボランティア活動、趣味スポーツ仲間とのやり取りが加わった。</p> <p>【外出頻度】 毎日。</p> <p>【健康状態】 だいたい良い。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】 「今後の自分の健康」「今後の家族の介護や生活の世話」に該当し、相談できる相手は特になし。</p>	
10	<p>71歳男性</p> <p>【居住形態】 現在地での居住年数20年以上。妻と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】 55歳で退職後、嘱託で就業している。退職5年前の日平均就業時間は11時間以上、平日の帰宅時間はおおよそ22時以降。片道通勤時間は1時間以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】 同居家族である妻と週に5日以上会話、食事を共にしている。同居外家族とは月に1～2回電話やメールのやり取りをしており、親族とは冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】 職場関係者および友人と月に1～2回のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】 挨拶をする人3～5人程度以外の付き合いはない。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】 挨拶をする人が1～2人から増えた。</p> <p>【外出頻度】 週に2～3回。</p> <p>【健康状態】 あまり良くない。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】 「現在自分の病気」「家族の介護や生活の世話」「頼れる人がおらず一人きりの生活になること」に該当し、相談できる相手は特になし。</p>	
11	<p>70歳男性</p> <p>【居住形態】 現在地での居住年数5～10年。妻と離死別、1人暮らし。</p> <p>【就業形態】 60歳で退職、退職5年前の日平均就業時間は7～9時間、平日の帰宅時間はおおよそ20～22時。片道通勤時間は1時間以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】 近居家族と週に1～2日以上会話、食事を共にし、月1～2日電話やメールでのやり取りがあり、親族とは正月やお盆、冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】 全項目に当てはまる人なし。</p> <p>【現在の近所との付き合い】 挨拶をする人3～5人程度、数日の不在時声をかける1～2人。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】 退職5年前にあった職場関係者、趣味スポーツなどの仲間とのつきあいが無くなった。</p> <p>【外出頻度】 週に2～3回程度。</p> <p>【健康状態】 あまり良くない。要介護2。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】 「現在自分の病気」に該当し、相談できる相手は子ども。</p>	<p>1人暮らしで居宅介護サービスを受けている様子であり、気になった</p>
12	<p>70歳男性</p> <p>【居住形態】 現在地での居住年数20年以上。妻と離死別、1人暮らし。</p> <p>【就業形態】 60歳で退職後、派遣社員・嘱託で就業している退職5年前の</p>	<p>1人暮らしで気になったため</p>

	<p>日平均就業時間は11時間以上、平日の帰宅時間はおおよそ22時以降。片道通勤時間は1時間以内。</p> <p>【現在の家族親族との付き合い】同居・近居家族と行動を共にすることは1週間の単位では無く、別に住む家族親族と週に1～2回以上、電話やメールでのやり取り、冠婚葬祭の際に会うつきあいがある。</p> <p>【現在の家族以外との付き合い】全項目に該当なし。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人3～5人程度、数日の不在時声をかける1～2人、地域についての相談・協力1～2人、おすそわけ1～2人、葬儀の出席1～2人。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】退職5年前にあった職場関係者、友人とのつきあいが無くなった。</p> <p>【外出頻度】週に2～3回程度。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。要支援1。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】特にない、相談できる相手は兄弟姉妹。</p>	
13	<p>69歳女性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数20年以上。未婚1人暮らし。</p> <p>【就業形態】55歳で退職した。退職5年前の日平均就業時間は11時間以上、平日の帰宅時間はおおよそ22時以降。片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族との付き合い】同居外家族とは月に1～2回電話やメールのやり取り、冠婚葬祭時に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外との付き合い】職場関係者、友人、趣味・スポーツなどの仲間と月に1～2回以上のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人6～10人程度、立ち話をする3～5人、地域についての相談協力1～2人。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】挨拶をする人が3～5人から増えた。</p> <p>【外出頻度】ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「今後の自分の健康」「頼れる人がおらず一人きりの生活になること」に該当し、相談できる相手は知人友人。</p>	1人暮らしで気になったため
14	<p>67歳女性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数20年以上。夫と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】65歳で退職後、現在はパート勤務。退職5年前の日平均就業時間は9～11時間、平日の帰宅時間はおおよそ20～22時。片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族との付き合い】同居近居家族と週5日以上会話、食事を共にしている。同居外家族とは月に1～2回電話やメールのやり取り、年中行事、冠婚葬祭時に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外との付き合い】職場関係者、友人、子どもを通じて知人と月に1～2回以上のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人6～10人程度、立ち話をする3～5人、地域についての相談協力1～2人、葬儀の出席3～5人。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】挨拶をする人が3</p>	

## II. 家族・地域とのつながり及び健康状態についての調査

	<p>～5人から増えた。</p> <p>【外出頻度】ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】良い。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「家族の病気」「頼れる人がおらず一人きりの生活になること」に該当し、相談できる相手は子ども、知人友人。</p>	
15	<p>68歳女性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数5年未満。夫と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】50歳で退職後、現在はパート・アルバイト勤務。退職5年前の日平均就業時間は5時間未満、平日の帰宅時間は18時以前。片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居近居家族と週5日以上会話、食事、週1～2日の外出を共にし、週1～2回メールでのやり取りをしている。同居外家族との親族の付き合いはない。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】職場関係者、友人、趣味仲間と月に1～2回以上のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人6～10人程度、立ち話をする3～5人、地域についての相談協力1～2人、葬儀の出席1～2人。町内会・自治会および地域で活動するボランティアに月1回程度参加している。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】居住地域が当時とは異なるが、ボランティア活動が加わった。</p> <p>【外出頻度】ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】良い。日頃のストレスなし。</p> <p>【悩み事】「現在の家族の病気」に該当し、相談できる相手は子ども、知人友人。</p>	
16	<p>71歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数20年以上。妻と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】60歳で退職。退職5年前の日平均就業時間は11時間以上、平日の帰宅時間はおおよそ22時以降。片道通勤時間は1時間以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居家族である妻と週に5日以上会話、食事を共にしている。同居外家族とはやり取りはなく、親族とは冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】かつての職場関係者、友人、趣味仲間と月に1～2回のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人3～5人程度以外の付き合いはない。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】挨拶をする人数が増え、趣味仲間とのやり取りが加わった。</p> <p>【外出頻度】ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。日頃のストレスはまったくない。</p> <p>【悩み事】「家族の介護や生活の世話」に該当し、相談できる相手は特になし。</p>	
17	<p>72歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数20年以上。妻と2人暮らし。</p>	

	<p>【就業形態】60歳で退職。退職5年前の日平均就業時間は11時間以上、平日の帰宅時間はおおよそ22時以降。片道通勤時間は1時間～1時間半。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居家族である妻と週に5日以上会話、食事を共にしている。同居外家族とはやり取りはなく、親族とは冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】かつての職場関係者、友人、趣味仲間と月に1～2回のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人3～5人程度以外の付き合いはない。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】挨拶をする人数が増え、趣味仲間とのやり取りが加わった。</p> <p>【外出頻度】ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。日頃のストレスはまったくない。</p> <p>【悩み事】「家族の介護や生活の世話」に該当し、相談できる相手は特になし。</p>	
18	<p>69歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数5～10年。妻と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】55歳で退職後、嘱託の形態で現在も働いている。退職5年前の日平均就業時間は5～7時間以上、平日の帰宅時間は18～19時。片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居家族である妻と週3～4日以上会話、食事を共にしている。同居外家族とやり取りはなく、親族とは冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】職場関係者、友人と月に1～2回のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人3～5人程度以外の付き合いはない。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】変化なし。</p> <p>【外出頻度】ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。日頃のストレスはまったくない。</p> <p>【悩み事】「家族の介護や生活の世話」に該当し、相談できる相手は配偶者。</p>	
19	<p>68歳女性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数10～20年。夫と離死別、親と同居。</p> <p>【就業形態】嘱託で就業している。5年前の日平均就業時間は5時間未満、平日の帰宅時間はおおよそ18時以前。片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居近居家族と週5日以上会話、食事を共にしている。同居外家族とは月に1～2回電話やメールのやり取りをしており、親族との付き合いはない。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】該当なし。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人3～5人程度以外の付き合いはない。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】変化なし。</p> <p>【外出頻度】ほとんど毎日。</p>	高齡の母親と2人暮らし

## II. 家族・地域とのつながり及び健康状態についての調査

	<p>【健康状態】あまり良くない。日頃のストレスはしばしばあり。</p> <p>【悩み事】「自分の病気」「家族の介護や生活の世話」「頼れる人がおらず一人きりの生活になること」に該当し、相談できる相手は特になし。</p>	
20	<p>70歳女性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数20年以上、3世帯同居。</p> <p>【就業形態】60歳で退職、退職前5年間の平均就業時間は5時間未満、平日の帰宅時間はおおよそ18時以前。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居近居家族と週5日以上会話、食事を共にしている。親族とは年中行事、冠婚葬祭で会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】該当なし。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人3～5人、お茶や食事を共にする1～2人、おすそわけ1～2人。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】挨拶をする人数が減り、立ち話をする人がいなくなった、参加していた地縁活動が無くなった。</p> <p>【外出頻度】週に1回程度。</p> <p>【健康状態】あまり良くない。日頃のストレスはたまにある。要介護2。</p> <p>【悩み事】「現在の自分の病気」に該当し、相談できる相手は子ども。</p>	
21	<p>70歳女性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数10～20年。夫と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】60歳で退職。退職5年前の日平均就業時間は7～9時間、平日の帰宅時間はおおよそ19～20時。片道通勤時間は1時間以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居近居家族と週5日以上会話、週3～4日食事を共にしている。同居外家族とは月に1～2回会い、年中行事、冠婚葬祭時に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】友人と月に1～2回以上のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人6～10人程度、立ち話をする3～5人、地域についての相談協力1～2人、葬儀の出席1～2人、年に1回程度自治会活動に参加している。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】挨拶をする人が3～5人から増えた。</p> <p>【外出頻度】ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】良い。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「今後の家族の健康」「頼れる人がおらず一人きりの生活になること」に該当し、相談できる相手は、兄弟姉妹。</p>	
22	<p>74歳女性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数5～10年。夫と離死別、子世帯と同居。</p> <p>【就業形態】60歳で退職。退職5年前の日平均就業時間は7～9時間、平日の帰宅時間はおおよそ18～19時。片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居近居家族と週5日以上会話、食事を共にしている。同居外家族とは冠婚葬祭時に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】友人と月に1～2回以上のやり取りがある。</p>	

	<p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人3～5人程度以外の付き合いはない。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】変化なし。</p> <p>【外出頻度】週に2～3回。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「今後の自分の健康」「今後の家族の健康」に該当し、相談できる相手は、兄弟姉妹。</p>	
23	<p>68歳女性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数10～20年。夫と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】60歳で退職し現在はパート・アルバイトをしている。退職5年前の日平均就業時間は5時間未満、平日の帰宅時間は18時以前、片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族との付き合い】同居近居家族と週3～4日会話、週1～2日食事を共にしている。同居外家族とは月に1～2回会い、親族とは月に1～2回連絡を取り、年中行事、冠婚葬祭時に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外との付き合い】友人と週に1～2回以上のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人6～10人程度、立ち話をする3～5人、地域についての相談協力1～2人、葬儀の出席1～2人、年に1回程度自治会活動に参加している。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】近所の1～2人とお茶や食事をするがなくなった。</p> <p>【外出頻度】ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】良い。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「家族の病気」「頼れる人がおらず一人きりの生活になること」に該当し、相談できる相手は、兄弟姉妹。</p>	
24	<p>69歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数10～20年。妻と離死別、子ども世帯と同居。</p> <p>【就業形態】60歳で退職後、契約嘱託の形で働いている。退職5年前の日平均就業時間は7～9時間、平日の帰宅時間はおおよそ19～20時。片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族との付き合い】同居近居家族と週5日以上会話、週3～4日食事を共にしている。同居外家族とは月に1～2回会い、年中行事、冠婚葬祭時に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外との付き合い】職場関係者、友人と月に1～2回以上のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人1～2人程度。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】変化なし。</p> <p>【外出頻度】ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】良い。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】悩み事なし、相談できる相手は特にいない。</p>	
25	<p>70歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数20年以上。妻と2人暮らし。</p>	<p>地域内で自営業をしてお</p>



## II. 家族・地域とのつながり及び健康状態についての調査

<p>【就業形態】退職なく現在まで自営業で働いている。退職5年前の日平均就業時間は7～9時間、平日の帰宅時間はおおよそ18～19時。片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居近居家族と週5日以上会話、週3～4日食事を共にしている。同居外家族とは月に1～2回会い、年中行事、冠婚葬祭時に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】職場関係者、近所の人、友人と月に1～2回以上のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人6～10人、地域の生活について相談・協力する6～10人、家族ぐるみのつき合いがある3～5人、葬儀への出席3～5人。月に1回程度自治会及び商工会等の活動に参加。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】変化なし。</p> <p>【外出頻度】ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】良い。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】悩み事なし、相談できる相手は配偶者、兄弟姉妹。</p>	<p>り、つながりが豊富と考えられたため</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------

図表3 地域Bに在住する調査対象者の特性と推進による抽出理由

	属性、地域における住まい方、働き方、家族・地域とのつきあい、悩みごととその相談相手および現在の健康状態	推進員による抽出理由
1	<p>71歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数20年以上。妻と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】自営家族就業の仕事をしており、5年前の日平均就業時間は9～11時間、平日の帰宅時間はおおよそ19～20時、片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居近居家族と週5日以上会話、週3～4日食事を共にしている。同居外家族とは月に1～2回会い、年中行事、冠婚葬祭時に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】近所の人、友人と月に1～2回以上のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人6～10人、地域の生活について相談・協力する6～10人、家族ぐるみのつき合いがある3～5人、葬儀への出席3～5人。月に1回程度自治会活動に参加。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】変化なし。</p> <p>【外出頻度】ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】良い。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「今後の自分の健康」相談できる相手は配偶者、兄弟姉妹。</p>	<p>地域の標準的な地域とのかわり</p>
2	<p>71歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数5年未満。妻と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】59歳で退職、退職5年前の日平均就業時間は9～11時間、平日の帰宅時間はおおよそ18～19時、片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居近居家族と週5日以上会話、週3</p>	<p>隣人</p>

	<p>～4日食事を共にしている。同居外家族とは月に1～2回会い、親族とはここ数年連絡を取っていない。</p> <p>【現在の家族以外との付き合い】友人、趣味仲間と月に1～2回以上のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人6～10人、立ち話をする3～5人、月に1回程度自治会活動に参加。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所との付き合いの比較】変化なし。</p> <p>【外出頻度】週に2～3回。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「今後の家族の健康」相談できる相手は知人友人。</p>	
3	<p>73歳女性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数20年以上。3世帯同居。</p> <p>【就業形態】65歳でパート・アルバイトを退職、退職5年前の日平均就業時間は5時間未満、平日の帰宅時間はおおよそ18時以前。片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族との付き合い】同居家族と週に5日以上会話、食事を共にし、同居外家族とは月に1～2回電話やメールでのやり取りがあり、親族とは正月やお盆、冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外との付き合い】全項目に当てはまる人なし。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人6～10人程度、立ち話をする3～5人、お茶や食事をする1～2人、おすそわけ1～2人、葬儀の手伝いをする人3～5人。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所との付き合いの比較】退職5年前には、地縁活動に参加していた。</p> <p>【外出頻度】週に2～3回程度。</p> <p>【健康状態】あまり良くない。要介護1。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「自分の今後の健康状態」「現在の家族の介護や生活の世話」に該当し、相談できる相手は、兄弟姉妹。</p>	対象者の家族とのやり取りがあるが、対象者自身を見かける機会が減っている感があるため
4	<p>68歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数5年未満。妻と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】60歳で退職。退職5年前の日平均就業時間は7～9時間、平日の帰宅時間はおおよそ19～20時。片道通勤時間は1時間以内。</p> <p>【家族親族との付き合い】同居家族である夫と週に5日以上会話、食事を共にし、週に1～2回共に外出する。友人知人と月に1回以上のやり取りがある。</p> <p>【近所との付き合い】挨拶をする人3～5人程度。町内会活動に月1回程度参加。</p> <p>【外出頻度】週に2～3日。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。日頃のストレスなし。</p> <p>【悩み事】「今後の自分の健康」「居住環境」に該当し、相談できる相手は配偶者。</p>	地域とのつながりは標準的な例と考えられた、また居住年数の比較的短い例として抽出した
5	<p>66歳女性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数20年以上。夫と離死別し1人暮らし。</p>	1人暮らしであるが、適度

## II. 家族・地域とのつながり及び健康状態についての調査

	<p>【就業形態】パート・アルバイトをして現在も働いている。5年前の日平均就業時間は5～7時間、平日の帰宅時間はおおよそ18時以前。片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】近居家族と月1～2回電話やメールでのやり取りがあり、親族とは正月やお盆、冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】仕事関係者と週に1～2回以上会い、趣味スポーツの仲間と月1回以上のつきあいがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人6～10人、立ち話をする3～5人、数日家を空ける際に声をかける1～2人、地域の生活について相談・協力する1～2人、おすそわけ1～2人、葬儀の出席3～5人、町内会活動および地縁活動に月1回程度参加。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】変化なし。</p> <p>【外出頻度】週に2～3回。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「今後の自分の健康状態」相談できる相手は兄弟姉妹。</p>	<p>な地域とのかかりを持っていて感があるため</p>
<p>6</p>	<p>67歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数5～10年。妻と離別あるいは死別し1人暮らし。</p> <p>【就業形態】60歳で退職後、嘱託で働いている、退職5年前の日平均就業時間は11時間以上、平日の帰宅時間はおおよそ20～22時。片道通勤時間は1時間以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】近居家族と月に1～2回会う、週に1～2回電話メールでのやり取りがある。親族とは月に1～2回以上会い、正月やお盆、冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】以前の職場関係者、友人や幼馴染、月に1～2回以上の電話やメールのやり取りあり。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする6～10人、立ち話をする1～2人、不在時に声をかける1～2人、町内会・自治会の活動には年に1回程度参加。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】退職5年前には、同居家族との会話、食事が週に3～4日程度あった。挨拶をする人が増え、町内会活動が加わった。</p> <p>【外出頻度】ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「経済的なこと」「今後の自分の健康状態」相談できる相手は特にいない。</p>	<p>男性の1人暮らしであり、地域とのつきあいが薄い例に該当する可能性を考慮したため</p>
<p>7</p>	<p>68歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数10～20年。3世帯同居。</p> <p>【就業形態】会社の経営をしている、退職5年前の日平均就業時間は11時間以上、平日の帰宅時間はおおよそ22時以降。片道通勤時間は1時間。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居家族と週に5日以上会話および食事、1～2日外出を共にし、同居外家族とは週3～4日電話やメールでのやり取りがあり、親族とは正月やお盆、冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】職場関係者週1～2回会い、友人、趣味</p>	<p>対象者の家族とは挨拶程度のつきあいがあるが、対象者本人はたまに見かけるが、近所づきあいがどの程</p>

	<p>仲間と月に1～2回会う。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人6～10人程度以外の付き合いはなし。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】変化なし。</p> <p>【外出頻度】ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「今後の自分の健康」に該当し、相談できる相手は特にいない。</p>	<p>度あるか不明だったため</p>
8	<p>69歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数10～20年。妻と離死別し1人暮らし。</p> <p>【就業形態】65歳で退職、退職5年前の日平均就業時間は9～11時間、平日の帰宅時間はおおよそ20～22時以降。片道通勤時間は1時間以内。</p> <p>【現在の家族親族との付き合い】近居家族および同居外家族とは月1～2日電話やメールでのやり取りがあり、ほかの親族とは付き合いがない。</p> <p>【現在の家族以外との付き合い】学生時代の友人と月に1～2回以上のやりとりがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人3～5人程度、立ち話をする1～2人。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】変化なし。</p> <p>【外出頻度】週に2～3回程度。</p> <p>【健康状態】あまり良くない。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「経済的なこと」「住居の居住環境」「自分の病気」に該当し、相談できる相手はなし。</p>	<p>1人暮らしであり、地域とのつながりが薄い可能性を考慮したため</p>
9	<p>72歳女性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数20年以上。夫と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】65歳で退職。退職5年前の日平均就業時間は5～7時間、平日の帰宅時間はおおよそ18時以前。片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族との付き合い】同居家族である夫と会話、食事を共にし、週に1～2日共に外出している。同居外家族との日常のやり取りはなく、親族とは冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外との付き合い】地域の人、友人、子どもを通じての知人、趣味スポーツなどの仲間と月に1～2回以上やり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人6～10人程度、立ち話をする3～5人、不在時に声をかける1～2人、共にお茶や食事をする1～2人、おすそわけ1～2人。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】月1回程度の地縁活動がなくなった。</p> <p>【外出頻度】週に2～3回程度。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「今後の家族の介護や生活の世話」に該当し、相談できる相手は子ども、配偶者。</p>	
10	<p>71歳女性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数20年以上。夫、子ども世帯と同居。</p>	

## II. 家族・地域とのつながり及び健康状態についての調査

	<p>【就業形態】55歳で嘱託派遣社員の仕事を退職。退職5年前の日平均就業時間は5～7時間以上、平日の帰宅時間はおおよそ18時以前。片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居家族と週に5日以上会話、食事を共にしている。同居外家族とは月に1～2回電話やメールのやり取りをしており、親族とは冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】知人友人と月に1～2回のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人6～10人、立ち話をする人1～2人。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】立ち話ををする人が3～6人から減った。地縁活動への参加が無くなった。</p> <p>【外出頻度】週に1回程度。</p> <p>【健康状態】あまり良くない。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「現在自分の病気」に該当し、相談できる相手は配偶者、兄弟姉妹。</p>	
11	<p>71歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数20年以上。妻と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】58歳で退職、退職5年前の日平均就業時間は9～11時間、平日の帰宅時間はおおよそ20～22時。片道通勤時間は1時間以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居家族と週5日以上会話、食事を共にし近居家族と週に1～2日以上会話、食事を共にし、月1～2日電話やメールでのやり取りがあり、親族とは正月やお盆、冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】近所の人、友人と月に1～2回以上会い、趣味仲間と月に1～2回以上のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人6～10人程度。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】退職5年前にあった町内会活動、地縁活動への参加がなくなった。</p> <p>【外出頻度】週に2～3回程度。</p> <p>【健康状態】あまり良くない。要支援1。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「現在自分の病気」に該当し、相談できる相手は配偶者。</p>	
12	<p>71歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数20年以上。妻と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】65歳で退職後、派遣社員・嘱託で就業している退職5年前の日平均就業時間は9～11時間以上、平日の帰宅時間はおおよそ20～22時。片道通勤時間は1時間以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居家族と会話食事をし、別に住む家族親族と月に1～2回以上、電話やメールでのやり取り、冠婚葬祭の際に会うつきあいがある。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】近所の人と週に1～2回、趣味仲間と月に1～2回会う。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人3～5人程度、地域についての</p>	

	<p>相談・協力1～2人、町内会活動、地域のサークル活動に月1回程度参加。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】サークル活動が加わった。</p> <p>【外出頻度】週に2～3回程度。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。日頃のストレスはない。</p> <p>【悩み事】「今後の家族の健康」「一人で暮らすことになること」相談できる相手は配偶者、兄弟姉妹。</p>	
13	<p>69歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数10～20年。妻と離死別し1人暮らし。</p> <p>【就業形態】65歳で退職した。退職5年前の日平均就業時間は7～9時間以上、平日の帰宅時間はおおよそ19～20時以降。片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居外家族とは月に1～2回電話やメールのやり取り、親族と年中行事、冠婚葬祭時に会うつきあい</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】以前の職場関係者、友人、趣味・スポーツなどの仲間と月に1～2回以上のやり取りがある</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人6～10人程度、立ち話をする3～5人、不在時に声をかける1～2人、地域についての相談協力1～2人。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】挨拶をする人が3～5人から増えた。</p> <p>【外出頻度】ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「今後の自分の健康」「頼れる人がおらず一人きりの生活になること」に該当し、相談できる相手は知人友人。</p>	1人暮らしで気になったため
14	<p>66歳女性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数5～10年以上。夫と離死別1人暮らし。</p> <p>【就業形態】65歳で退職後、現在はパート勤務。退職5年前の日平均就業時間は5時間未満、平日の帰宅時間はおおよそ18時以前。片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】近居家族と週1～2日以上会話、食事を共にしている。親族とは年中行事、冠婚葬祭時に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】職友人、子どもを通じて知人と月に1～2回以上のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人6～10人程度、立ち話をする3～5人、地域についての相談協力1～2人、葬儀の出席3～5人。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】挨拶をする人が3～5人から増えた。</p> <p>【外出頻度】ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】良い。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「今後の自分の建国」「頼れる人がおらず一人きりの生活になること」に該当し、相談できる相手は子ども、知人友人。</p>	
15	<p>66歳女性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数5～10年。夫と2人暮らし。</p>	

## II. 家族・地域とのつながり及び健康状態についての調査

	<p>【就業形態】50歳で退職後、現在はパート・アルバイト勤務。退職5年前の日平均就業時間は5時間未満、平日の帰宅時間は18時以前。片道通勤時間は1時間以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居近居家族と週5日以上会話、食事、週1～2日の外出を共にし、週1～2回メールでのやり取りをしている。親族とは年中行事、冠婚葬祭時に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】近所の人、友人と月に1～2回以上のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人6～10人程度、立ち話をする1～2人、地域についての相談協力1～2人、葬儀の出席1～2人。町内会・自治会および地縁活動に月1回程度参加している。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】変化なし。</p> <p>【外出頻度】ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】良い。日頃のストレスなし。</p> <p>【悩み事】「現在の家族の病気」に該当し、相談できる相手は子ども、知人友人。</p>	
16	<p>71歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数20年以上。妻と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】60歳で退職。退職5年前の日平均就業時間は11時間以上、平日の帰宅時間はおおよそ22時以降。片道通勤時間は1時間以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居家族である妻と週に5日以上会話、食事を共にしている。同居外家族とはやり取りはなく、親族とは冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】かつての職場関係者、友人、趣味仲間と月に1～2回のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人3～5人、地域環境について相談協力する人1～2人程度。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】趣味仲間とのやり取りが加わった。</p> <p>【外出頻度】ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。日頃のストレスはまったくない。</p> <p>【悩み事】「今後の家族の介護や生活の世話」に該当し、相談できる相手は特になし。</p>	
17	<p>69歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数20年以上。子ども世帯と同居妻と離死別。</p> <p>【就業形態】派遣嘱託社員。退職5年前の日平均就業時間は9～11時間以上、平日の帰宅時間はおおよそ20～22時。片道通勤時間は1時間以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居家族と週に5日以上会話、食事を共にしている。同居外家族とはやり取りはなく、親族とは冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】近所の人と月に1～2回会う。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人3～5人、立ち話をする人1～2人、町内会・地縁活動に月1回程度参加。</p>	

	<p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】地縁活動への参加とのやり取りが加わった。</p> <p>【外出頻度】週に2～3回。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。日頃のストレスはしばしばある。</p> <p>【悩み事】「自分の今後の健康」に該当し、相談できる相手は特になし。</p>	
18	<p>69歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数5～10年。3世帯同居。</p> <p>【就業形態】自営・家族従業者。退職5年前の日平均就業時間は9～11時間以上、平日の帰宅時間は18～19時。片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居家族と週5日以上会話、食事を共にしている。同居外家族とやり取りはなく、親族とは冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】友人と月に1～2回のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人3～5人程度、町内会活動年に1回程度参加。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】変化なし。</p> <p>【外出頻度】週に1～2回。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。日頃のストレスはたまにある。</p> <p>【悩み事】「今後家族の介護や生活の世話」に該当し、相談できる相手は配偶者、子ども。</p>	
19	<p>73歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数10～20年。妻と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】65歳で退職。5年前の日平均就業時間は5時間未満、平日の帰宅時間はおおよそ18時以前。片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居近居家族と週5日以上会話、食事を共にしている。同居外家族とは月に1～2回電話やメールのやり取りをしており、親族との付き合いはない。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】該当なし。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人3～5人程度以外の付き合いはない。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】変化なし。</p> <p>【外出頻度】ほとんど毎日。</p> <p>【健康状態】あまり良くない。日頃のストレスはしばしばあり。</p> <p>【悩み事】「自分の病気」「家族の介護や生活の世話」「頼れる人がおらず一人きりの生活になること」に該当し、相談できる相手は友人。</p>	夫婦のみ世帯の例として抽出、地域とのつながりは標準から少なめの印象
20	<p>74歳女性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数20年以上、3世帯同居。</p> <p>【就業形態】60歳で退職、退職前5年間の平均就業時間は5時間未満、平日の帰宅時間はおおよそ18時以前。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居近居家族と週5日以上会話、食事を共にしている。親族とは年中行事、冠婚葬祭で会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】該当なし。</p>	3世帯の例として抽出



## II. 家族・地域とのつながり及び健康状態についての調査

	<p>【現在の近所との付き合い】 挨拶をする人3～5人、お茶や食事を共にする1～2人、おすそわけ1～2人。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】 挨拶をする人数が減り、立ち話をする人がいなくなった、参加していた地縁活動が無くなった。</p> <p>【外出頻度】 週に1回程度。</p> <p>【健康状態】 あまり良くない。日頃のストレスはたまにある。要介護2。</p> <p>【悩み事】 「現在の自分の病気」に該当し、相談できる相手は子ども。</p>	
21	<p>68歳女性</p> <p>【居住形態】 現在地での居住年数20年以上。夫と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】 55歳で退職。退職5年前の日平均就業時間は5～7時間、平日の帰宅時間はおおよそ19～20時。片道通勤時間は1時間以内。</p> <p>【現在の家族親族との付き合い】 同居近居家族と週5日以上会話、週3～4日食事を共にしている。親族とは年中行事、冠婚葬祭時に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外との付き合い】 近所の人と週に1～2回以上会い、友人と月に1～2回以上のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】 挨拶をする人6～10人程度、立ち話をする3～5人、地域についての相談協力1～2人、葬儀の出席1～2人、年に1回程度自治会活動及び地縁活動、市民活動に参加している。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】 挨拶をする人が3～5人から増え、市民活動が加わった。</p> <p>【外出頻度】 ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】 良い。日頃のストレスはほとんどない。</p> <p>【悩み事】 「今後の家族の健康」「頼れる人がおらず一人きりの生活になること」に該当し、相談できる相手は、配偶者。</p>	
22	<p>68歳女性</p> <p>【居住形態】 現在地での居住年数5～10年。夫と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】 62歳で退職。退職5年前の日平均就業時間は5時間未満、平日の帰宅時間はおおよそ18時以前。片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族との付き合い】 同居近居家族と週5日以上会話、3～4回食事を共にしている。同居外家族とは月に1～2回会い、年中行事、冠婚葬祭時に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外との付き合い】 該当なし。</p> <p>【現在の近所との付き合い】 挨拶をする人3～5人程度、立ち話をする人1～2人、不在時に声をかける1～2人。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】 変化なし。</p> <p>【外出頻度】 週に2～3回。</p> <p>【健康状態】 だいたい良い。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】 「今後の自分の健康」「今後の家族の健康」に該当し、相談できる相手は、配偶者。</p>	
23	<p>71歳女性</p> <p>【居住形態】 現在地での居住年数10～20年。夫と2人暮らし。</p>	

	<p>【就業形態】60歳で退職し現在はパート・アルバイトをしている。退職5年前の日平均就業時間は5時間未満、平日の帰宅時間は18時以前、片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居近居家族と週5日以上会話、3～4日食事、週1～2日外出を共にしている。親族とは月に1～2回連絡を取る。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】友人と週に1～2回以上のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人6～10人程度、立ち話をする3～5人、地域についての相談協力1～2人、葬儀の出席1～2人、年に1回程度自治会活動に参加している。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】近所の1～2人とお茶や食事をするがなくなった。</p> <p>【外出頻度】ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】良い。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「家族の病気」「頼れる人がおらず一人きりの生活になること」に該当し、相談できる相手は、兄弟姉妹。</p>	
24	<p>71歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数5～10年。妻と離死別、子ども世帯と同居。</p> <p>【就業形態】65歳で退職。退職5年前の日平均就業時間は9～11時間、平日の帰宅時間はおおよそ19～20時。片道通勤時間は1時間以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居近居家族と週5日以上会話、週3～4日食事を共にしている。年中行事、冠婚葬祭時に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】以前の職場関係者、友人と月に1～2回以上のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人1～2人程度。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】挨拶をする人が減った。</p> <p>【外出頻度】週に2～3回。</p> <p>【健康状態】あまり良くない。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「今後の自分の健康」相談できる相手は特にいない。</p>	
25	<p>74歳女性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数10～20年以上。夫と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】58歳で退職。退職5年前の日平均就業時間は7～9時間、平日の帰宅時間はおおよそ18～19時。片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居近居家族と週5日以上会話、週3～4日食事を共にしている。親族とは年中行事、冠婚葬祭時に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】近所の人、友人と月に1～2回以上のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人6～10人、地域の生活について相談・協力する1～2人、おすそわけ1～2人、葬儀への出席3～5人。</p>	

## II. 家族・地域とのつながり及び健康状態についての調査

<p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】地縁活動への参加が無くなった。</p> <p>【外出頻度】週に3～4日。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「現在の家族の病気」相談できる相手は、兄弟姉妹。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

図表4 地域Cに住する調査対象者の特性と推進による抽出理由

	属性、地域における住まい方、働き方、家族・地域とのつきあい、悩みごととその相談相手および現在の健康状態	推進員による抽出理由
1	<p>72歳女性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数10～20年、夫と離別あるいは死別しており1人暮らし。</p> <p>【就業形態】55歳でパート・アルバイトを退職、5年前の日平均就業時間は7～9時間、平日の帰宅時間はおおよそ17時以降、片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】別に住む親族とは、週に1～2回以上電話やメールでのやり取りがあり、冠婚葬祭時に会う。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】友人や幼馴染と月に1～2回以上のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人3～5人程度、立ち話をする人1～2人、葬儀の手伝いをする人1～2人。町内会・自治会の活動には年に数回参加している。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】変化なし。</p> <p>【外出頻度】週に2～3回。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。日頃のストレスはときどきある。</p> <p>【悩み事】「今後の自分の健康状態」「頼れる人がおらず一人きりの暮らしになること」に該当し、相談できる相手は知人や友人、兄弟姉妹。</p>	1人暮らしであるため
2	<p>72歳女性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数20年以上、夫と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】自営家族従業員、退職5年前の日平均就業時間は9～11時間、平日の帰宅時間はおおよそ18時前。片道通勤時間は1時間以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居近居家族と週5日以上会話、週3～4日食事を共にしている。別に住む親族とは、週に1～2日電話やメールでのやり取りがある。親族には冠婚葬祭時に会う。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】趣味、スポーツなどの仲間と月に1～2回以上会っている。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人6～10人程度、数日の不在時声をかける1～2人、葬儀の手伝いをする人3～5人。町内会・自治会の活動には月に1回程度参加、地域の自主的サークル活動に月1回程度参加している。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】変化なし。</p>	

	<p>【外出頻度】 ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】 だいたい良い。日頃のストレスはたまにある。</p> <p>【悩み事】 「現在の自分の病気」「今後の自分の健康状態」に該当し、相談できる相手は特にいない。</p>	
3	<p>72歳女性</p> <p>【居住形態】 現在地での居住年数20年以上。夫と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】 経営者・役員をしており65歳で退職、退職5年前の日平均就業時間は9～11時間、平日の帰宅時間はおおよそ22時以降。片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族との付き合い】 同居家族である夫と週に5日以上会話、食事を共にし、同居外家族とは週3～4日電話やメールでのやり取りがあり、親族とは正月やお盆、冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外との付き合い】 全項目に当てはまる人なし。</p> <p>【現在の近所との付き合い】 挨拶をする人6～10人程度、立ち話をする3～5人、数日の不在時声をかける1～2人、葬儀の手伝いをする人3～5人。町内会・自治会の活動には年に1回程度参加。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】 退職5年前には、週3～4日であった同居家族との会話、食事の頻度が高くなった。挨拶をする人、立ち話をする人の数が1～2人から増えた。</p> <p>【外出頻度】 週に2～3回程度。</p> <p>【健康状態】 だいたい良い。要支援1。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】 「家族の病気」「自分の今後の健康状態」「現在の家族の介護や生活の世話」に該当し、相談できる相手は配偶者、兄弟姉妹。</p>	
4	<p>68歳女性</p> <p>【居住形態】 現在地での居住年数10～20年。夫と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】 60歳で退職。退職5年前の日平均就業時間は9～11時間、平日の帰宅時間はおおよそ20～22時。片道通勤時間は1時間以内。</p> <p>【家族親族との付き合い】 同居家族である夫と週に5日以上会話、食事を共にし、同居外家族とのつきあいはない。</p> <p>【近所との付き合い】 挨拶をする人3～5人程度。</p> <p>【外出頻度】 週に2～3回程度。</p> <p>【健康状態】 あまり良くない。要介護3。日頃のストレスしばしばあり。</p> <p>【悩み事】 「現在の自分の病気」に該当し、相談できる相手は兄弟姉妹。</p>	
5	<p>71歳男性</p> <p>【居住形態】 現在地での居住年数5年未満。未婚1人暮らし。</p> <p>【就業形態】 65歳で退職後、嘱託勤務。5年前の日平均就業時間は9～11時間、平日の帰宅時間はおおよそ22時以降。1時間～1時間半。</p> <p>【現在の家族親族との付き合い】 親族とは正月やお盆、冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外との付き合い】 仕事関係者と週に1～2回以上会い、学生時代の友人、趣味スポーツの仲間とつきあいがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】 挨拶をする人6～10人程度。年に1回程度町</p>	<p>未婚男性の1人暮らしであり、つながりの関係が他と異なると予想したため</p>

## II. 家族・地域とのつながり及び健康状態についての調査

	<p>内会活動に参加。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】変化なし。</p> <p>【外出頻度】毎日。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「今後の自分の健康状態」に該当し、相談できる相手は、知人や友人。</p>	
6	<p>71歳女性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数5～10年。夫と離別あるいは死別し1人暮らし。</p> <p>【就業形態】60歳で退職、退職5年前の日平均就業時間は7～9時間、平日の帰宅時間はおおよそ19～20時。片道通勤時間は1時間以内。</p> <p>【現在の家族親族との付き合い】近居家族と週に1～2日メールでのやり取りがある。親族とは正月やお盆、冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外との付き合い】友人や幼馴染と月に1～2回以上の電話やメールのやり取りあり。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする6～10人程度以外の日頃のつきあいはない。町内会・自治会の活動には年に1回程度参加。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】退職5年前には、同居家族との会話、食事が週に3～4日程度あり、その後夫と離死別し同居近居家族との対面の会話、食事が無くなったとみられる。</p> <p>【外出頻度】週に2～3回程度。</p> <p>【健康状態】あまり良くない。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「経済的なこと」「今後の自分の健康状態」相談できる相手は特にいない。</p>	
7	<p>72歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数20年以上。3世帯同居。</p> <p>【就業形態】60歳で退職、退職5年前の日平均就業時間は11時間以上、平日の帰宅時間はおおよそ22時以降。片道通勤時間は1時間～1時間半。</p> <p>【現在の家族親族との付き合い】同居家族と週に5日以上会話および食事、1～2日外出を共にし、同居外家族とは週3～4日電話やメールでのやり取りがあり、親族とは正月やお盆、冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外との付き合い】すべての項目において該当者なし。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人1～2人程度以外の付き合いはない。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】退職5年前には、週3～4日であった同居家族との会話、食事の頻度が高くなった。挨拶をする人、3～5人から減り、立ち話をする人の数が1～2人から「いない」になった。</p> <p>【外出頻度】週に2～3回程度。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「今後の自分の健康」に該当し、相談できる相手は特にいない。</p>	
8	<p>68歳女性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数5年未満。子世帯との同居。</p>	近所づきあいの程度として

	<p>【就業形態】日に5～7時間未満のパート・アルバイトを60歳で退職、退職5年前の日平均就業時間は9～11時間、平日の帰宅時間はおおよそ22時以降。片道通勤時間は1時間以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居家族と週に5日以上会話、食事を共にし、同居外家族とは月1～2日電話やメールでのやり取りがあり、親族とは年中行事に会う。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】子どもを通じての知人と月に1～2回以上のやりとりがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人6～10人程度、立ち話をする3～5人、数日の不在時声をかける1～2人、葬儀の手伝いをする人1～2人。町内会・自治会の活動には年に1回程度参加。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】退職5年前から、立ち話をする人が増えた。</p> <p>【外出頻度】週に2～3回程度。</p> <p>【健康状態】あまり良くない。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「経済的なこと」「住居の居住環境」「自分の病気」「今後の家族の介護や生活の世話」に該当し、相談できる相手は配偶者、兄弟姉妹。</p>	標準的であると考えたため
9	<p>66歳女性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数5年未満。夫と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】60歳で退職。退職5年前の日平均就業時間は7～9時間以上、平日の帰宅時間はおおよそ19～20時以降。片道通勤時間は1時間以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居家族と週に3～4日食事を共にし、週に1～2日共に外出している。同居外家族との日常のやり取りはなく、親族とは冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】友人、子どもを通じての知人、趣味スポーツなどの仲間と月に1～2回以上やり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人3～5人程度、立ち話をする1～2人、おすそわけ1～2人、町内会、地縁活動に月1回程度参加。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】地縁活動が加わった。</p> <p>【外出頻度】毎日。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「今後の自分の健康」「今後の家族の介護や生活の世話」に該当し、相談できる相手は特になし。</p>	標準的
10	<p>66歳女性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数20年以上。夫、夫の兄弟と同居。</p> <p>【就業形態】55歳で退職後、嘱託で就業している。退職5年前の日平均就業時間は5時間未満、平日の帰宅時間はおおよそ18時以前。片道通勤時間は1時間以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居家族と週に5日以上会話、食事を共にしている。同居外家族とは月に1～2回電話やメールのやり取りをしており、親族とは冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】友人と月に1～2回のやり取りがある。</p>	

## II. 家族・地域とのつながり及び健康状態についての調査

	<p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人3～5人程度、町内会活動に年に1回程度参加。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】変化なし。</p> <p>【外出頻度】週に2～3回。</p> <p>【健康状態】あまり良くない。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「今後の自分の健康」「今後の家族の健康」「家族の介護や生活の世話」「頼れる人がおらず一人きりの生活になること」に該当し、相談できる相手は特になし。</p>	
11	<p>66歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数5～10年。妻と離死別、1人暮らし。</p> <p>【就業形態】60歳で退職、退職5年前の日平均就業時間は7～9時間、平日の帰宅時間はおおよそ20～22時。片道通勤時間は1時間以内。</p> <p>【現在の家族親族との付き合い】近居家族と週に1～2日以上会話、食事を共にし、月1～2日電話やメールでのやり取りがあり、親族とは正月やお盆、冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外との付き合い】全項目に当てはまる人なし。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人3～5人程度。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】友人とのやりとりが無くなった。</p> <p>【外出頻度】週に2～3回程度。</p> <p>【健康状態】あまり良くない。要介護1。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「現在自分の病気」に該当し、相談できる相手は特になし。</p>	
12	<p>68歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数10～20年。未婚1人暮らし。</p> <p>【就業形態】57歳で退職後、派遣社員・嘱託で就業している退職5年前の日平均就業時間は11時間以上、平日の帰宅時間はおおよそ22時以降。片道通勤時間は1時間以内。</p> <p>【現在の家族親族との付き合い】別に住む家族親族と週に1～2回以上、電話やメールでのやり取り、冠婚葬祭の際に会うつきあいがある。</p> <p>【現在の家族以外との付き合い】以前の職場関係者、知人、趣味の仲間と月に1～2回以上のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人3～5人程度、不在時声をかける1～2人、地域についての相談・協力1～2人。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】不在時声をかけるようになり、以前の職場、趣味仲間とのやり取りが加わった。</p> <p>【外出頻度】ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「今後の自分の健康」相談できる相手は特にいない。</p>	1人暮らしで気になったため
13	<p>68歳女性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数20年以上。夫、子どもと同居。</p> <p>【就業形態】55歳で退職した。退職5年前の日平均就業時間は11時間以上、平日の帰宅時間はおおよそ22時以降。片道通勤時間は30分以内。</p>	1人暮らしで気になったため

	<p>【現在の家族親族とのつき合い】同居近居家族と週5日以上会話、週3～4日食事を共にしている。親族とは年中行事、冠婚葬祭時に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】友人、子どもを通じての知人、趣味・スポーツなどの仲間と月に1～2回以上のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人6～10人程度、立ち話をする3～5人、地域についての相談協力1～2人、町内会活動、地縁活動に年に1回以上参加。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】挨拶をする人が3～5人から増えた。</p> <p>【外出頻度】ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「今後の自分の健康」「頼れる人がおらず一人きりの生活になること」「子どもの将来」に該当し、相談できる相手は知人友人。</p>	
14	<p>72歳女性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数5～10年。夫と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】65歳で退職後、現在はパート勤務。退職5年前の日平均就業時間は9～11時間、平日の帰宅時間はおおよそ20～22時。片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居近居家族と週5日以上会話、食事を共にしている。同居外家族とは月に1～2回電話やメールのやり取り、年中行事、冠婚葬祭時に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】友人、子どもを通じて知人と月に1～2回以上のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人6～10人程度、立ち話をする3～5人、地域についての相談協力1～2人、葬儀の出席3～5人。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】挨拶をする人が3～5人から増えた。</p> <p>【外出頻度】ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】良い。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「家族の病気」「頼れる人がおらず一人きりの生活になること」に該当し、相談できる相手は子ども、知人友人。</p>	
15	<p>66歳女性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数5～10年。夫と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】55歳で退職後、現在はパート・アルバイト勤務。退職5年前の日平均就業時間は5時間未満、平日の帰宅時間は18時以前。片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居近居家族と週5日以上会話、食事、週1～2日の外出を共にし、週1～2回メールでのやり取りをしている。同居外家族との親族の付き合いはない。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】職場関係者、友人、趣味仲間と月に1～2回以上のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人6～10人程度、立ち話をする3～5人、地域についての相談協力1～2人、葬儀の出席1～2人。町内会・</p>	



## II. 家族・地域とのつながり及び健康状態についての調査

	<p>自治会および地域で活動するボランティアに月1回程度参加している。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】居住地域が当時とは異なるが、ボランティア活動が加わった。</p> <p>【外出頻度】ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】良い。日頃のストレスなし。</p> <p>【悩み事】「現在の家族の病気」に該当し、相談できる相手は子ども、知人友人。</p>	
16	<p>71歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数20年以上。妻と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】63歳で退職。退職5年前の日平均就業時間は11時間以上、平日の帰宅時間はおおよそ22時以降。片道通勤時間は1時間以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居家族である妻と週に5日以上会話、食事を共にしている。同居外家族とはやり取りはなく、親族とは冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】かつての職場関係者、友人、趣味仲間と月に1～2回のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人3～5人程度以外の付き合いはない。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】趣味仲間とのやり取りが加わった。</p> <p>【外出頻度】週に2～3回。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。日頃のストレスはまったくない。</p> <p>【悩み事】「今後の家族の介護や生活の世話」に該当し、相談できる相手は特になし。</p>	
17	<p>73歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数10～20年。妻と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】60歳で退職。退職5年前の日平均就業時間は11時間以上、平日の帰宅時間はおおよそ22時以降。片道通勤時間は1時間～1時間。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】同居家族である妻と週に5日以上会話、食事を共にしている。同居外家族とはやり取りはなく、親族とは冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】かつての職場関係者、友人、趣味仲間と月に1～2回のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人3～5人程度以外の付き合いはない。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】挨拶をする人数が増え、趣味仲間とのやり取りが加わった。</p> <p>【外出頻度】ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。日頃のストレスはまったくない。</p> <p>【悩み事】「家族の介護や生活の世話」に該当し、相談できる相手は特になし。</p>	
18	<p>70歳女性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数20年以上。妻と2人暮らし。</p>	

	<p>【就業形態】55歳で退職後、嘱託の形態で現在も働いている。退職5年前の日平均就業時間は5～7時間以上、平日の帰宅時間は18～19時。片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族との付き合い】同居家族である妻と週3～4日以上会話、食事を共にしている。同居外家族とやり取りはなく、親族とは冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外との付き合い】職場関係者、友人と月に1～2回のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人3～5人程度以外の付き合いはない。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】変化なし。</p> <p>【外出頻度】ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。日頃のストレスはまったくない。</p> <p>【悩み事】「家族の介護や生活の世話」に該当し、相談できる相手は配偶者。</p>	
19	<p>69歳女性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数10～20年。夫と離死別、親と同居。</p> <p>【就業形態】嘱託で就業している。5年前の日平均就業時間は5時間未満、平日の帰宅時間はおおよそ18時以前。片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族との付き合い】同居近居家族と週5日以上会話、食事を共にしている。同居外家族とは月に1～2回電話やメールのやり取りをしており、親族との付き合いはない。</p> <p>【現在の家族以外との付き合い】該当なし。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人3～5人程度以外の付き合いはない。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】変化なし。</p> <p>【外出頻度】ほとんど毎日。</p> <p>【健康状態】あまり良くない。日頃のストレスはしばしばあり。</p> <p>【悩み事】「自分の病気」「家族の介護や生活の世話」「頼れる人がおらず一人きりの生活になること」に該当し、相談できる相手は特になし。</p>	高齡の母親と2人暮らし
20	<p>70歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数20年以上、3世帯同居。</p> <p>【就業形態】60歳で退職、退職前5年間の平均就業時間は5時間未満、平日の帰宅時間はおおよそ18時以前。</p> <p>【現在の家族親族との付き合い】同居近居家族と週5日以上会話、食事を共にしている。親族とは年中行事、冠婚葬祭で会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外との付き合い】該当なし。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人3～5人、お茶や食事を共にする1～2人、おすそわけ1～2人。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】挨拶をする人数が減り、立ち話をする人がいなくなった、参加していた地縁活動が無くなった。</p> <p>【外出頻度】週に1回程度。</p> <p>【健康状態】あまり良くない。日頃のストレスはたまにある。要介護2。</p> <p>【悩み事】「現在の自分の病気」に該当し、相談できる相手は子ども。</p>	

## Ⅱ. 家族・地域とのつながり及び健康状態についての調査

21	<p>68歳女性</p> <p>【居住形態】 現在地での居住年数10～20年。夫と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】 60歳で退職。退職5年前の日平均就業時間は7～9時間、平日の帰宅時間はおおよそ19～20時。片道通勤時間は1時間以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】 同居近居家族と週5日以上会話、週3～4日食事を共にしている。同居外家族とは月に1～2回会い、年中行事、冠婚葬祭時に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】 友人と月に1～2回以上のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】 挨拶をする人6～10人程度、立ち話をする3～5人、地域についての相談協力1～2人、葬儀の出席1～2人、年に1回程度自治会活動に参加している。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】 挨拶をする人が3～5人から増えた。</p> <p>【外出頻度】 ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】 良い。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】 「今後の家族の健康」「頼れる人がおらず一人きりの生活になること」に該当し、相談できる相手は、兄弟姉妹。</p>	
22	<p>68歳女性</p> <p>【居住形態】 現在地での居住年数20年以上。夫と離死別、子世帯と同居。</p> <p>【就業形態】 60歳で退職。退職5年前の日平均就業時間は7～9時間、平日の帰宅時間はおおよそ18～19時。片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】 同居近居家族と週5日以上会話、食事を共にしている。同居外家族とは月に冠婚葬祭時に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】 友人と月に1～2回以上のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】 挨拶をする人3～5人程度以外の付き合いはない。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】 変化なし。</p> <p>【外出頻度】 週に2～3回。</p> <p>【健康状態】 だいたい良い。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】 「今後の自分の健康」「今後の家族の健康」に該当し、相談できる相手は、兄弟姉妹。</p>	
23	<p>71歳女性</p> <p>【居住形態】 現在地での居住年数20年以上。夫と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】 60歳で退職し現在はパート・アルバイトをしている。退職5年前の日平均就業時間は5時間未満、平日の帰宅時間は18時以前、片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】 同居近居家族と週3～4会話、週1～2日食事を共にしている。同居外家族とは月に1～2回会い、親族とは月に1～2回連絡を取り、年中行事、冠婚葬祭時に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】 友人と週に1～2回以上のやり取りがある。</p>	

	<p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人6～10人程度、立ち話をする3～5人、地域についての相談協力1～2人、葬儀の出席1～2人、年に1回程度自治会活動に参加している。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】近所の1～2人とお茶や食事をするがなくなった。</p> <p>【外出頻度】ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】良い。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】「家族の病気」「頼れる人がおらず一人きりの生活になること」に該当し、相談できる相手は、兄弟姉妹。</p>	
24	<p>71歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数5年未満。妻と離死別、子ども世帯と同居。</p> <p>【就業形態】60歳で退職後、契約嘱託の形で働いている。退職5年前の日平均就業時間は7～9時間、平日の帰宅時間はおおよそ19～20時。片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族との付き合い】同居近居家族と週5日以上会話、週3～4日食事を共にしている。同居外家族とは月に1～2回会い、年中行事、冠婚葬祭時に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外との付き合い】職場関係者、友人と月に1～2回以上のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人1～2人程度。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】変化なし。</p> <p>【外出頻度】ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】良い。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】悩み事なし、相談できる相手は特にいない。</p>	
25	<p>72歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数20年以上。妻と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】退職なく現在まで自営業で働いている。5年前の日平均就業時間は7～9時間、平日の帰宅時間はおおよそ18～19時。片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族との付き合い】同居近居家族と週5日以上会話、週3～4日食事を共にしている。同居外家族とは月に1～2回会い、年中行事、冠婚葬祭時に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外との付き合い】職場関係者、近所の人、友人と月に1～2回以上のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人6～10人、地域の生活について相談・協力する6～10人、家族ぐるみの付き合いがある3～5人、葬儀への出席3～5人。月に1回程度自治会及び商工会等の活動に参加。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】変化なし。</p> <p>【外出頻度】ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】良い。日頃のストレスはたまにあり。</p> <p>【悩み事】悩み事なし、相談できる相手は配偶者、兄弟姉妹。</p>	<p>地域内で自営業をされており、つながりが豊富と考えられたため</p>

## II. 家族・地域とのつながり及び健康状態についての調査

図表5 地域Dに在住する調査対象者の特性と推進による抽出理由

	属性、地域における住まい方、働き方、家族・地域とのつきあい、悩みごととその相談相手および現在の健康状態	推進員による抽出理由
1	<p>67歳男性</p> <p>【居住形態】 現在地での居住年数5～10年。妻と離別あるいは死別しており1人暮らし。</p> <p>【就業形態】 現在も会社経営者・役員の仕事をしており、5年前の日平均就業時間は9～11時間、平日の帰宅時間はおおよそ22時以降、片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】 別に住む親族とは、週に1～2回以上電話やメールでのやり取りがあり、冠婚葬祭時に会う。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】 家族以外との付き合いは現在働いているため、仕事関係の人と週に1～2回以上会っており、また、学生時代の友人や幼馴染と月に1～2回以上のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】 挨拶をする人6～10人程度、立ち話をする人1～2人、葬儀の手伝いをする人1～2人。町内会・自治会の活動には年に数回参加している。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】 5年前にはなかった学生時代の友人や幼馴染とのやり取りがある。近所で会った時に挨拶をする人の数が、5年前の11人以上から現在の6～10人に移行。</p> <p>【外出頻度】 ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】 だいたい良い。日頃のストレスはいつもある。</p> <p>【悩み事】 「今後の自分の健康状態」「頼れる人がおらず一人きりの暮らしになること」に該当し、相談できる相手は知人や友人。</p>	1人暮らしであるため
2	<p>66歳男性</p> <p>【居住形態】 現在地での居住年数5～10年。未婚、1人暮らし。</p> <p>【就業形態】 58歳で退職、退職5年前の日平均就業時間は9～11時間、平日の帰宅時間はおおよそ22時以降。片道通勤時間は1時間以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】 別に住む親族とは、週に1～2日会って会話をし、週3～4日電話やメールでのやり取りがある。冠婚葬祭時に会う。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】 趣味、スポーツなどの仲間と月に1～2回以上会っている。</p> <p>【現在の近所との付き合い】 挨拶をする人3～5人程度、数日の不在時声をかける1～2人、葬儀の手伝いをする人1～2人。町内会・自治会の活動には月に1回程度参加、地域の自主的サークル活動に月1回程度参加している。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】 退職5年前にはなかった地域の自主的サークル活動が加わった。</p> <p>【外出頻度】 ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】 だいたい良い。日頃のストレスはまったくない。</p> <p>【悩み事】 「現在の自分の病気」「今後の自分の健康状態」に該当し、相談できる相手は特にいない。</p>	趣味のグループ活動に参加していることを知人づてに知っていたため

3	<p>72歳女性</p> <p>【居住形態】 現在地での居住年数10～20年。夫と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】 経営者・役員をしており65歳で退職、退職5年前の日平均就業時間は9～11時間、平日の帰宅時間はおおよそ22時以降。片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】 同居家族である夫と週に5日以上会話、食事を共にし、同居外家族とは週3～4日電話やメールでのやり取りがあり、親族とは正月やお盆、冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】 全項目に当てはまる人なし。</p> <p>【現在の近所との付き合い】 挨拶をする人6～10人程度、立ち話をする3～5人、数日の不在時声をかける1～2人、葬儀の手伝いをする人3～5人。町内会・自治会の活動には年に1回程度参加。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】 退職5年前には、週3～4日であった同居家族との会話、食事の頻度が高くなった。挨拶をする人、立ち話をする人の数が1～2人から増えた。</p> <p>【外出頻度】 週に2～3回程度。</p> <p>【健康状態】 だいたい良い。要支援1。日頃のストレスはしばしばあり。</p> <p>【悩み事】 「家族の病気」「自分の今後の健康状態」「現在の家族の介護や生活の世話」に該当し、相談できる相手は配偶者、兄弟姉妹。</p>	<p>挨拶程度のつきあいがあるが、長年仕事で不在の時間が多く、地域活動で見かけることが少なかったため</p>
4	<p>74歳男性</p> <p>【居住形態】 現在地での居住年数10～20年。妻と離別あるいは死別しており子、孫と同居。</p> <p>【就業形態】 60歳で退職。退職5年前の日平均就業時間は9～11時間、平日の帰宅時間はおおよそ20～22時。片道通勤時間は1時間以内</p> <p>【家族親族とのつき合い】 同居家族である夫と週に5日以上会話、食事を共にし、同居外家族とのつきあいはない。</p> <p>【近所との付き合い】 挨拶をする人1～2人程度。</p> <p>【外出頻度】 週に2～3回程度。</p> <p>【健康状態】 あまり良くない。要介護3。日頃のストレスしばしばあり。</p> <p>【悩み事】 「現在の自分の病気」に該当し、相談できる相手は兄弟姉妹。</p>	
5	<p>68歳男性</p> <p>【居住形態】 現在地での居住年数20年以上。妻と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】 自営業で現在も働いている。5年前の日平均就業時間は9～11時間、平日の帰宅時間はおおよそ22時以降。1時間～1時間半。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】 同居家族する妻と週に5日以上会話、週に3～4日食事を共にし、同居外家族とは月1～2回電話やメールでのやり取りがあり、親族とは正月やお盆、冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】 仕事関係者と週に1～2回以上会い、学生時代の友人、趣味スポーツの仲間とつきあいがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】 挨拶をする人6～10人程度。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】 変化なし。</p> <p>【外出頻度】 毎日。</p> <p>【健康状態】 だいたい良い。日頃のストレスはいつもあり。</p>	<p>自分の隣人の知人</p>

## II. 家族・地域とのつながり及び健康状態についての調査

【悩み事】「今後の自分の健康状態」「今後の家族の介護や生活の世話」に該当し、相談できる相手は配偶者、知人や友人。
----------------------------------------------------------

図表6 地域Eに在住する調査対象者の特性と推進による抽出理由

	属性、地域における住まい方、働き方、家族・地域とのつきあい、悩みごととその相談相手および現在の健康状態	推進員による抽出理由
1	<p>67歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数5～10年。妻と離別あるいは死別しており1人暮らし。</p> <p>【就業形態】現在も会社経営者・役員の仕事をしており、5年前の日平均就業時間は9～11時間、平日の帰宅時間はおおよそ22時以降、片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】別に住む親族とは、週に1～2回以上電話やメールでのやり取りがあり、冠婚葬祭時に会う。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】家族以外との付き合いは現在働いているため、仕事関係の人と週に1～2回以上会っており、また、学生時代の友人や幼馴染と月に1～2回以上のやり取りがある。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人6～10人程度、立ち話をする人1～2人、葬儀の手伝いをする人1～2人。町内会・自治会の活動には年に数回参加している。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】5年前にはなかった学生時代の友人や幼馴染とのやり取りがある。近所で会った時に挨拶をする人の数が、5年前の11人以上から現在の6～10人に移行。</p> <p>【外出頻度】ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。日頃のストレスはしばしばある。</p> <p>【悩み事】「今後の自分の健康状態」「頼れる人がおらず一人きりの暮らしになること」に該当し、相談できる相手は知人や友人。</p>	1人暮らしであるため
2	<p>66歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数5～10年。未婚、1人暮らし。</p> <p>【就業形態】58歳で退職、退職5年前の日平均就業時間は9～11時間、平日の帰宅時間はおおよそ22時以降。片道通勤時間は1時間以内。</p> <p>【現在の家族親族とのつき合い】別に住む親族とは、週に1～2日会って会話をし、週3～4日電話やメールでのやり取りがある。冠婚葬祭時に会う。</p> <p>【現在の家族以外とのつき合い】趣味、スポーツなどの仲間と月に1～2回以上会っている。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人3～5人程度、数日の不在時声をかける1～2人、葬儀の手伝いをする人1～2人。町内会・自治会の活動には月に1回程度参加、地域の自主的サークル活動に月1回程度参加している。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】退職5年前にはなかった地域の自主的サークル活動が加わった。</p>	地域のサークル活動に参加していることを知人づてに知っていたため

	<p>【外出頻度】ほぼ毎日。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。日頃のストレスはつねにある。</p> <p>【悩み事】「現在の自分の病気」「今後の自分の健康状態」に該当し、相談できる相手は特にいない。</p>	
3	<p>72歳女性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数10～20年。夫と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】経営者・役員をしており65歳で退職、退職5年前の日平均就業時間は9～11時間、平日の帰宅時間はおおよそ22時以降。片道通勤時間は30分以内。</p> <p>【現在の家族親族との付き合い】同居家族である夫と週に5日以上会話、食事を共にし、同居外家族とは週3～4日電話やメールでのやり取りがあり、親族とは正月やお盆、冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p> <p>【現在の家族以外との付き合い】全項目に当てはまる人なし。</p> <p>【現在の近所との付き合い】挨拶をする人6～10人程度、立ち話をする3～5人、数日の不在時声をかける1～2人、葬儀の手伝いをする人3～5人。町内会・自治会の活動には年に1回程度参加。</p> <p>【5年前と現在の家族親族、近所とのつきあいの比較】退職5年前には、週3～4日であった同居家族との会話、食事の頻度が高くなった。挨拶をする人、立ち話をする人の数が1～2人から増えた。</p> <p>【外出頻度】週に2～3回程度。</p> <p>【健康状態】だいたい良い。要支援1。日頃のストレスはいつもある。</p> <p>【悩み事】「家族の病気」「自分の今後の健康状態」「現在の家族の介護や生活の世話」に該当し、相談できる相手は配偶者、兄弟姉妹。</p>	挨拶程度のつきあいがあるが、長年仕事で不在の時間が多く、地域活動で見かけることが少なかったため
4	<p>74歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数10～20年。妻と離別あるいは死別しており子、孫と同居。</p> <p>【就業形態】60歳で退職。退職5年前の日平均就業時間は9～11時間、平日の帰宅時間はおおよそ20～22時。片道通勤時間は1時間以内。</p> <p>【家族親族との付き合い】同居家族である夫と週に5日以上会話、食事を共にし、同居外家族とのつきあいはない。</p> <p>【近所との付き合い】挨拶をする人1～2人程度。</p> <p>【外出頻度】週に2～3回程度。</p> <p>【健康状態】あまり良くない。要介護3。日頃のストレスしばしばあり。</p> <p>【悩み事】「現在の自分の病気」に該当し、相談できる相手は兄弟姉妹。</p>	
5	<p>68歳男性</p> <p>【居住形態】現在地での居住年数20年以上。妻と2人暮らし。</p> <p>【就業形態】自営業で現在も働いている。5年前の日平均就業時間は9～11時間、平日の帰宅時間はおおよそ22時以降。片道通勤時間は1時間～1時間半。</p> <p>【現在の家族親族との付き合い】同居家族する妻と週に5日以上会話、週に3～4日食事を共にし、同居外家族とは月1～2回電話やメールでのやり取りがあり、親族とは正月やお盆、冠婚葬祭の際に会うつきあい。</p>	自分の隣人の知人



## II. 家族・地域とのつながり及び健康状態についての調査

【現在の家族以外との付き合い】 仕事関係者と週に1～2回以上会い、学生時代の友人、趣味スポーツの仲間とつきあいがある。

【現在の近所との付き合い】 挨拶をする人6～10人程度。

【5年前と現在の家族親族、近所との付き合いの比較】 変化なし。

【外出頻度】 毎日。

【健康状態】 だいたい良い。日頃のストレスはしばしばあり。

【悩み事】 「今後の自分の健康状態」「今後の家族の介護や生活の世話」に該当し、相談できる相手は配偶者、知人や友人。

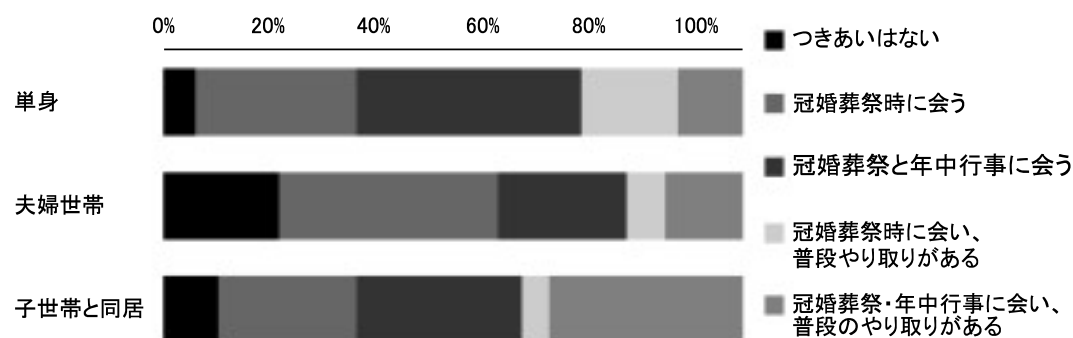
### 2. 4 家族および親族とのつながり

同居家族および近居家族との対面での会話、電話やメールでやり取り、外出の活動単位が皆無であった対象者は85名のうち3名(3.5%)であった。一人暮らし高齢者の61.1%は近居家族あるいは親族と月に1回以上の電話やメールで連絡を取っており、夫婦世帯の51.1%、子ども世帯との同居者50.0%が同居家族との対面での会話、食事に加え、同居家族以外の家族親族と月に1回以上電話やメールでのやり取りがあった。

親族との付き合いは、「冠婚葬祭時に会う」が最も多く31.8%であり、「冠婚葬祭時とお盆や正月などの年中行事に会う」27.1%、「冠婚葬祭時およびお盆や正月の年中行事に会う以外に普段やり取りをする」17.6%、「冠婚葬祭時に会う以外に普段やり取りをする」8.2%であった。親族との付き合いの種類が多い「冠婚葬祭時およびお盆や正月の年中行事に会う以外に普段やり取りをする」の割合は、調査地域Bにおいて最も高く25.0%であった。

親族との付き合いを同居家族の構成別にみると、「つきあいが無い」の割合は夫婦世帯において最も高く、「冠婚葬祭時およびお盆や正月の年中行事に会う以外に普段やり取りをする」の割合は、子どもの世帯との同居をしている場合において最も高かった。

図表7 同居家族の構成と親族との付き合い



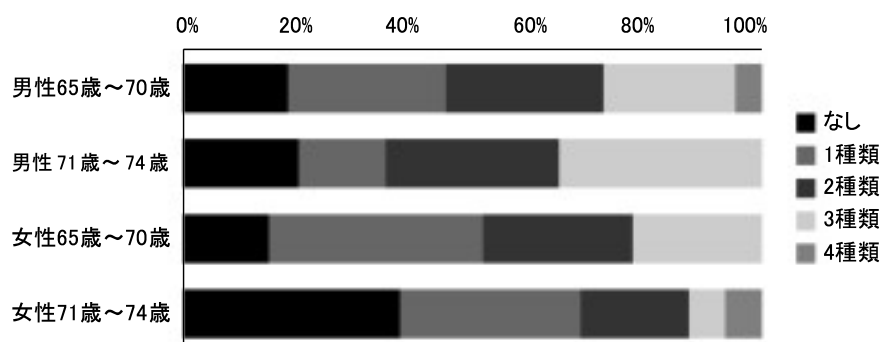
### 2. 5 友人や知人、趣味仲間などとのつながり

家族や親族以外のごつながりについて、古くからの友人幼馴染、職場の関係者、子どもを通じての知人、趣味やスポーツ仲間などとの4区分の人々との付き合いについて聴取した。上記の関係において、月1回以上のやり取り(会う、連絡を取る)が全くなかった対象者は21.2%であり、

1種類以上の人々とのやり取りがあった対象者は28.2%、2種類25.9%、3種類22.4%、4種類2.2%であった。

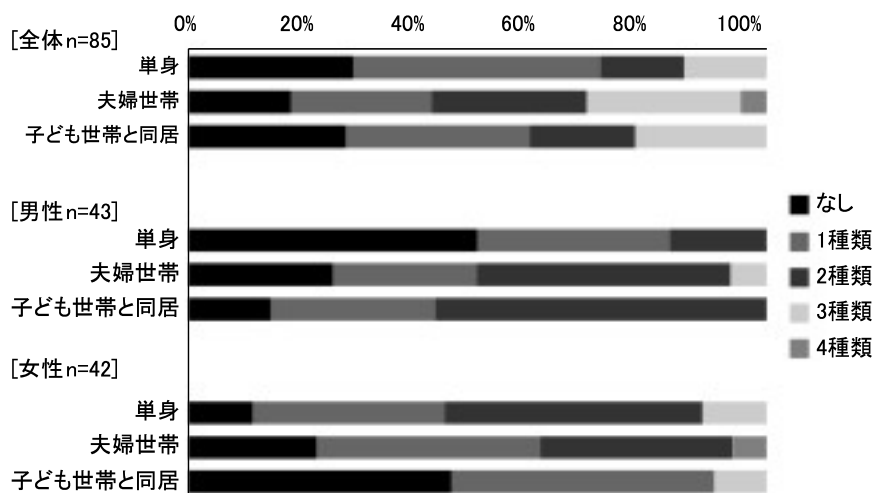
男性においては、71歳から74歳の高齢区分において65歳から70歳までの区分と比較し、友人、知人、趣味仲間とのつきあいの種別が増すが、女性においては、年齢が高くなるほど、友人や知人趣味仲間とのつきあいの種別が減る傾向にあった（図表8）。

図表8 友人や知人、趣味仲間などとのつきあい（性別、年齢区分別）



同居家族の形態と知人、友人、趣味仲間などの家族・親族以外のつきあいについて、男性では同居人数が多いほど家族・親族以外とのつきあいの種別が多く、逆に女性では単身者においてつきあいの種別が多い傾向にあった（図表9）。

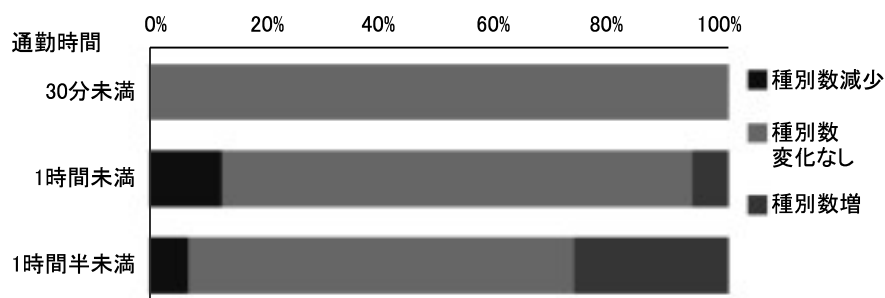
図表9 家族・親族以外の人とのつきあい（性別、同居形態別）



また、男性において通勤時間と家族・親族以外のつきあいをみると、つきあいの種別数が2以上である割合は、通勤時間30分未満で81.8%、30分から1時間で43.8%、1時間から1時間半では46.7%であった。現在と在職時（退職5年前）とのつきあいの変化は、通勤時間が長いほどつきあいの種別数は増加していた（図表10）。

## II. 家族・地域とのつながり及び健康状態についての調査

図表10 男性対象者における通勤時間と退職後の友人や知人、趣味仲間などとのつきあいの変化



### 2. 6 地域におけるつながり

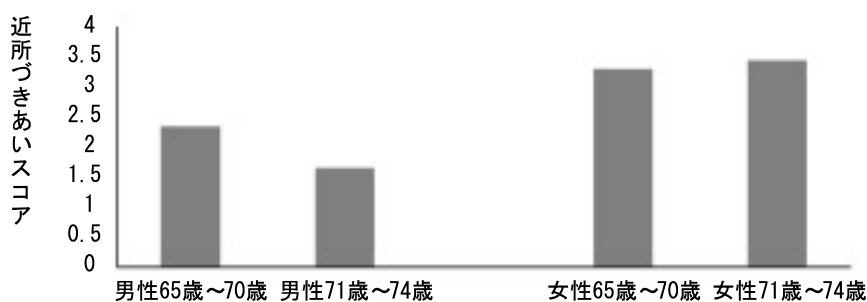
地域におけるつながりについて、近所との8種類の活動単位(挨拶、立ち話、不在時の声掛け、地域の生活・居住環境についての相談および協力、お茶や食事をともにする、おすそわけ、家族ぐるみのつきあい、葬儀の出席・手伝い)と地域活動への参加(町内会・自治会、婦人会、老人会などの地縁活動、商工会・業種組合、自主サークル活動、ボランティア活動)から、つながりの量と種類を計測した。

会った時の挨拶は、85名すべての対象者が行っていた。挨拶をする相手の数は、1～2人(7.1%)、3～5人(36.5%)、6～10人(48.2%)、11人以上8.2%であった。挨拶の次に多く見られた近所の人とのつながりを示す活動単位は、立ち話をする(48.2%)であり、続いて、葬儀への参加(43.5%)、地域の居住環境についての相談・協力(32.8%)、不在時の声がけ(18.8%)、おすそ分け(17.6%)、家族ぐるみで余暇等を楽しむ(12.8%)であった。

地位活動の参加については、自治会・町内会の参加は51.8%、地縁活動への参加は10.6%であった。

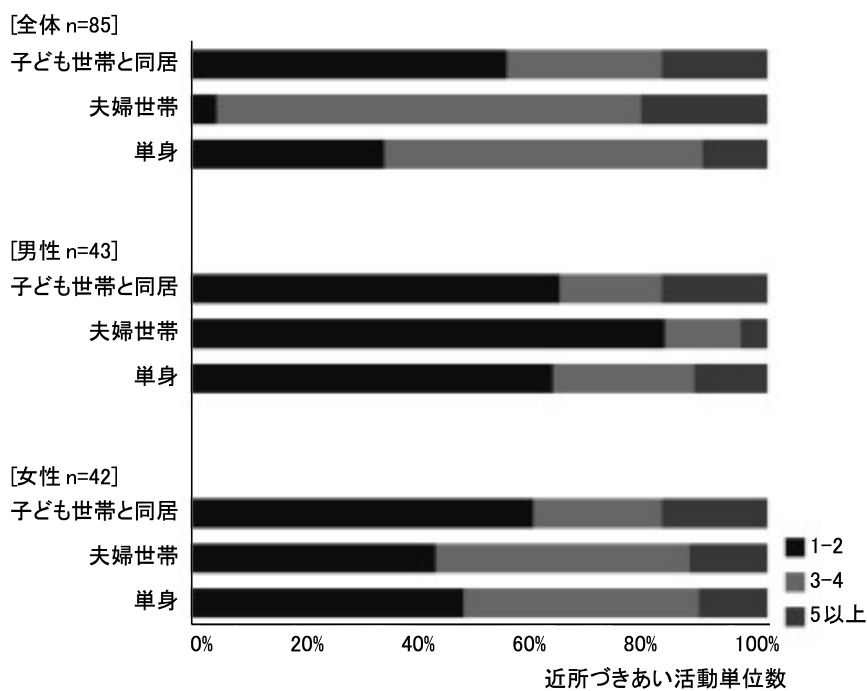
近所との8種類の活動単位について1人以上とのつきあいがある種別の合計数の平均値(近所づきあいスコア)は2.67であった。性別による地域との活動単位数の平均値は、男性1.95、女性3.55であり、他の先行研究と同様に(JARC)、男性に比べて女性における地域とのつながりの高さが示された(図表11)。近所づきあいスコアを地域別にみると、地域Bにおいて2.80と最も高く、つづいて地域C2.68、地域A2.33であった。これは、自治会・町内会加入率の高い地域Bの地域特性を反映しているものと考えられた。災害被災地域である地域D、地域Eにおいては、今後の地域の居住計画を検討する住民懇談会等の開催により、地域居住環境についての相談・協力が高くなっていた。

図表11 近所づきあいスコア 性・年齢区分別



活動単位数による近所とのつきあいが活発であるのは、男性では単身者、女性では夫婦世帯であった(図表12)。子ども世帯との同居世帯では、活動単位が低い傾向は、子ども世帯と同居している場合は、子ども世帯の夫婦が近所づきあいの主体であることがうかがわれた。

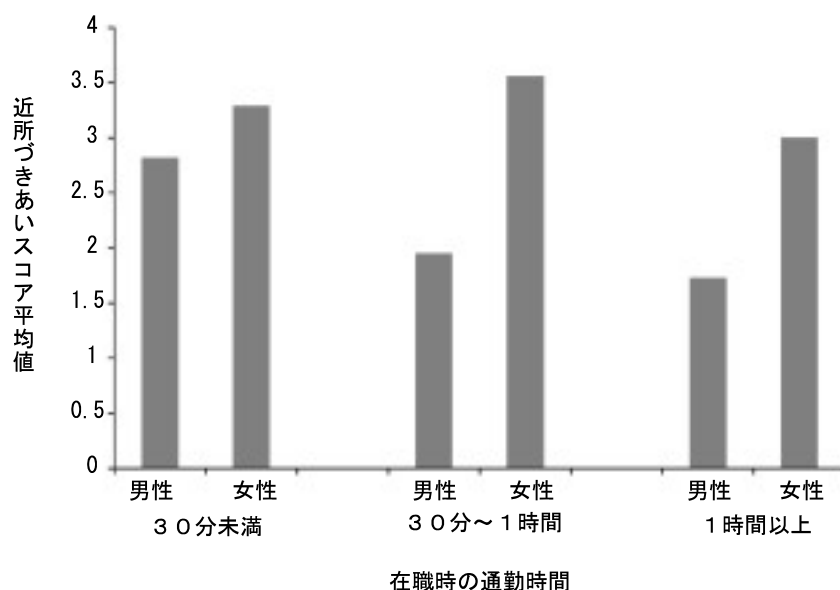
図表12 近所づきあいと同居家族構成



近所づきあいは、男女とも通勤時間がながいほど少ない傾向にあった(図表13)。ただし、女性では通勤時間が長い区分において、退職後の地域との付き合いに増加がみられていた。

## II. 家族・地域とのつながり及び健康状態についての調査

図表13 近所づきあいと在職時の通勤時間



### 2.7 在職時とのつながりの変化

男性女性ともに退職前と比較して、趣味友人および地域とのつながりは増加の傾向にあるが、特に女性は地域とのつながり、男性は趣味友人とのつながりに増加が認められた(図表14)。女性における地域とのつながりの減少は、3世帯同居者における子ども世帯への活動主体の移行が、影響していると考えられた。

図表14 男女別退職後のつながりの変化

つながりの種類	在職時との変化	男性 (%) n=43	女性 (%) n=42
知人、友人、趣味の仲間	減少	7.1	2.3
	変化なし	81.0	93.0
	増加	11.9	4.7
近所づきあい	減少	11.9	23.3
	変化なし	69.0	39.5
	増加	19.0	37.2
地域活動への参加	減少	7.1	14.0
	変化なし	81.0	67.4
	増加	11.9	18.6

### 2.8 健康状態、こころの健康

主観的健康の回答は、「よい」7.1%、「だいたいよい」49.4%、「あまりよくない」28.2%、よくない2.0%であった。対象者の12.9%が介護認定を受けていた。主観的健康感の性別および年齢別区分では、71歳から74歳の年齢区分で「あまりよくない」または「よくない」の割合の合計が

35.0%（男性）、37.5%（女性）と高くなっていた。健康状態と近所づきあいをみると、近所づきあいの活動単位の多いグループでは、健康状態の「よい」の割合が高かった（図表15）。健康状態と近所づきあいの関連が示されたが、健康であるために地域の活動数が多い、または、地域の活動が多いため健康が維持されている、いずれの機序であるかについて説明するには、十分でない。

ストレスについては、「ない」14.1%、「たまにある」68.2%、「しばしばある」15.3%、「いつもある」2.4%であった。震災を受けた地域D、地域Eにおいては、すべての対象者が「しばしばある」または「いつもある」に該当していた。

悩み事は、該当が多かった順に「今後の自分の健康」54.1%、「頼る人がいなくなりひとりきりの生活になること」23.5%、「現在の自分の病気」17.6%、「今後の家族の介護や生活の世話」16.5%、「今後の家族の健康」15.3%、「経済的なこと」12.9%、「住環境」11.8%、「現在の家族の病気」10.6%であった。地域D、地域Eにおいては、悩み事の該当数が多く他地域に比べ「経済的なこと」、「居住環境」が悩みとしてあがっていた。

悩み事の相談相手は、最も多かったのは「兄弟家族」28.2%であり、続いて「妻か夫」23.5%、「友人」14.1%であった。悩み事の相談相手の合計数は、近所づきあい活動の単位が多いグループにおいて、多い傾向にあった（図表16）。

図表15 主観的健康感による健康状態と近所づきあい

	近所づきあい活動単位		
	1-2	3-4	5以上
健康状態			
よい	12.5%	28.1%	25.0%
だいたいよい	50.0%	53.1%	33.3%
あまりよくない・よくない	37.5%	18.8%	41.7%

図表16 悩み事を相談できる人の種別数と近所づきあい

	近所づきあい活動単位		
	1-2	3-4	5以上
相談できる人の種類の合計			
いない	55.0%	21.9%	8.3%
1	35.0%	49.5%	66.7%
2	10.0%	28.1%	16.7%
3以上	0.0%	3.1%	8.3%

### Ⅲ. 介護サービス・生活支援サービスの利用高齢者の家族および地域に交流関係とサービス利用についてのケーススタディ

#### 1. 調査方法

包括的な地域保健プログラムに取り組む首都圏および地方都市の3地域において、地域包括支援センターおよび居宅介護支援事業所に勤務する専門職を対象に質問紙票をもちいて調査を行った。3地域は、地域居住高齢者を対象とする家族・地域とのつながり及び健康状態についての聞き取り調査の調査地域A、地域B、地域Cと同一である。

それぞれの地域の5つの地域包括支援センター要支援・要介護認定者の介護、生活支援サービスの利用と家族、地域における交流関係について調査回答専門職が担当するサービス利用者のなかから、回答者が任意であげる認知症あり1名、認知症なし1名の事例について詳細を尋ねる形式で調査票を設計し、地域包括支援センターと施設・事業所を区別するものとし、調査項目および選択肢については同一とした。また、代表者が回答する調査票（代表者回答票）とスタッフが回答する調査票（専門職回答票）に分けて調査票を作成し、研究協力の同意が得られた地域包括支援センターおよび居宅介護支援事業所に質問紙票を送付した。各センターおよび事業所について、それぞれ5名の専門職による回答を事前に依頼し、同数を送付した。

##### 【I】代表者回答票

過去1か月間の利用者に関する、利用者数、単身世帯の利用者数、高齢者夫婦世帯の利用者数、認知症のある利用者数、不利益や被害にあったことのある利用者数

##### 【II】専門職回答票

過去1か月以上担当している利用者のうち、認知症のある利用者と認知症のない利用者のそれぞれについて、世帯構成、年齢、性別、要介護度、外出目的と頻度、利用している介護保険サービスの内容と頻度、介護保険サービス以外に日常生活上で利用しているサービスの内容と頻度、利用者が地域とのつながりを得るために重視している事項

地域Aの居宅介護支援事業所については、地域包括支援センターから介護予防事業の委託を受ける5事業所と、委託を受けない5事業者の計10所とした。地域B、Cについては、地域包括支援センター数が4であり、そのうち研究協力の同意が得られた3センターと、委託に因る区分をわけない

調査票は、次の質問項目から構成した。

利用者の性別、年齢、要介護度、同居家族及び近居家族の構成、地域包括支援センターに至る経緯・経路と関わった仲介者、機関、介護保険サービス及び介護保険以外のサービスの利用種類とサービスの提供者及び仲介者、日常生活動作・手段的日常動作の行為者、社会活動範囲。

## 2. 調査結果

## 2.1 回収率

地域Aについては10センター、25事業所送付のうち、8センター11事業所から回答を得た。地域Bについては、4センター10事業所送付のうち、3センター4事業所、地域Cについては、4センター15事業所送付し3センター9事業所から回答を得た。図表17に、調査票回答者数とその職種分類について示す。

図表17 介護サービス事業所・施設および地域包括支援センターにおける専門職回答者の内わけ

	地域A	地域B	地域C	計
居宅介護支援事業所数	11	4	9	24
介護支援専門員	28	6	17	51
保健師	2	1	4	7
看護師	12	7	9	28
理学療法士	2	2	3	7
作業療法士	2	3	1	6
社会福祉士	3	4	7	14
訪問介護員	0	—	1	1
介護福祉士	12	9	4	25
事業所施設回答者 計	61	32	46	139
地域包括支援センター数	8	3	3	14
介護支援専門員	14	6	8	28
保健師	18	2	2	22
看護師	6	5	3	14
理学療法士	0	0	1	1
作業療法士	0	0	1	1
社会福祉士	9	4	6	19
訪問介護員	0	1	1	2
介護福祉士	—	1	—	1
地域包括支援センター回答者 計	47	19	22	88
回答者合計	108	51	68	227



### ■ Ⅲ. 介護サービス・生活支援サービスの利用高齢者の家族および地域に交流関係とサービス利用についてのケーススタディ

合計227人の専門職の回答から、それぞれ認知症あり・なしの2事例について計454ケースのうち、414ケース（人）について分析が可能な結果を得た。

#### 【年齢】

65歳～69歳	54人
70歳～74歳	154人
75歳以上	246人

#### 【世帯構成】

単身世帯	86人
高齢者夫婦世帯	115人
その他	47人

#### 【要介護度】

要支援1	78人
要支援2	85人
要介護1	68人
要介護2	95人
要介護3	43人
要介護4	35人
要介護5	40人

## 2. 2 保健・医療・福祉の支援と地域における交流形態

各専門職が回答した事例から、回答した利用者が地域とつながりをもって生活ができるように重視している事項を選択した結果、家族関係、近隣の人との関係、性格を重視する傾向が見られた。職種毎に見ると、看護師、保健師、社会福祉士については、歩行等の移動能力、性格、疾患が考慮されており、介護福祉士は隣人との関係、地域とのつながりを求める要望、趣味、現在の地域での役割とあって、つながり形成の直接的関与要因となる要素を考慮する傾向にあった。一方で、利用者の以前の職業については、居宅介護支援事業所における社会福祉を例外として、他のどの職種においても、地域とつながりをもった生活を促進する上で、重要視する傾向は低かった。特に男性高齢者については、退職後の地域での生活を持続する上で、多くの時間を過ごしてきた環境と断絶せずにつながりを維持することを鑑みれば、就業分野での経験にもとづく特性、また職場関係者とのかかわりの持ち方を含めた友人関係についても考慮する視野が求められると考えられた。

図表18 世帯別の交流形態

	単身世帯	高齢者夫婦世帯
75歳以上	92.3%	69.6%
認知症がある	46.2%	52.2%

月1回以上の項目	単身世帯	高齢者夫婦世帯
外食・配食	59.0%	43.5%
配偶者等への付き添い	2.6%	30.4%
銀行や役所への手続き	66.8%	56.5%
家族、友人、親戚などの訪問	74.4%	65.2%
散歩	66.8%	73.9%
訪問看護	7.7%	13.04%
居宅療養管理	0.0%	4.4%
通所介護	28.2%	21.7%
短期入所生活介護 短期入所療養介護	0.0%	4.4%
配食	46.2%	13.0%
移送サービス	7.7%	17.4%
簡単な日曜大工や庭仕事	12.8%	26.1%
家事代行サービス	25.6%	30.4%
傾聴・話し相手などの他者との交流	28.2%	17.4%
見守り	23.1%	17.4%

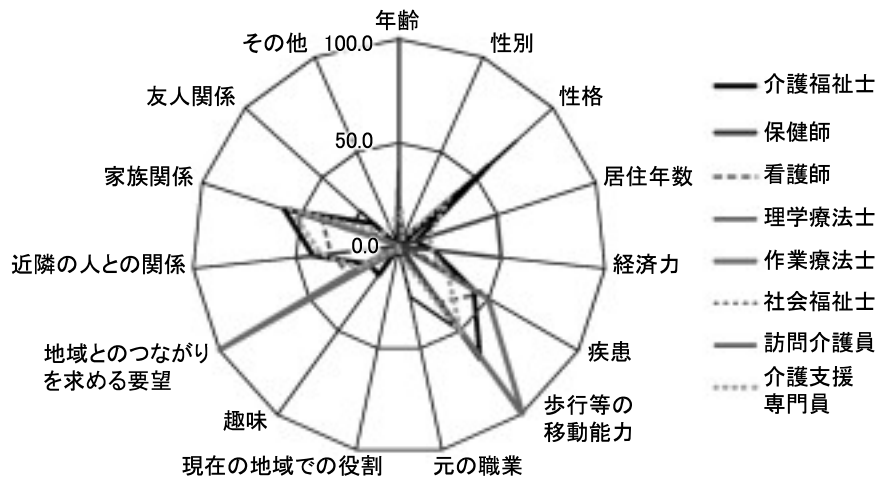
図表19 認知症の有無による交流形態

月1回以上の項目	認知症がある	認知症がない
買い物	80.0%	93.8%
外食・会食	43.3%	62.5%
医療機関への通院	83.3%	100.0%
家族、友人、親戚などの訪問	63.3%	78.1%
訪問看護	13.3%	6.25%
通所介護	30.0%	21.9%
通所リハビリテーション	10.0%	18.8%
配食	36.7%	31.3%
傾聴・話し相手などの他者との交流	26.7%	92.9%
見守り	20.0%	21.9%

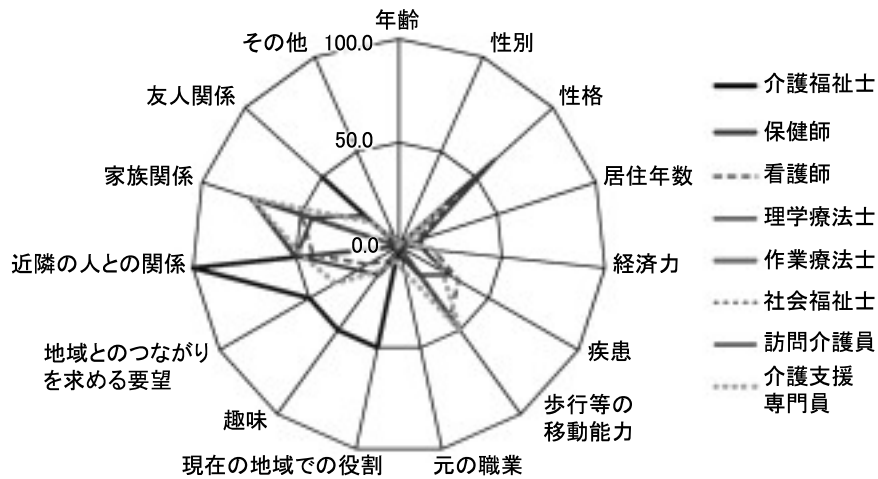
Ⅲ. 介護サービス・生活支援サービスの利用高齢者の家族および地域に交流関係とサービス利用についてのケーススタディ

【利用者が地域とつながりをもって生活ができるように重視している事項】

図表20 居宅介護支援事業所のサービス利用者ケース：専門職種別



図表21 地域包括支援センター サービス利用者ケース：専門職種別



## Ⅳ. まとめ

在職中に家族・親族や地域との絆である血縁や地縁が希薄化し、さらに退職とともに「社縁」を失い、社会との接点が欠乏した環境で高齢期むかえる循環が生じている。しかしながら、高齢期日常生活においては、医療、介護、生活支援を含む多種・多様な社会的支援を必要とする。本研究は、家族や近隣における人と人とのつながりを高齢者の現在、在職中の双方について数量化し、健康状態や医療・介護ニーズ、生活支援ニーズとの関連を明らかにし、社会経済的な生活条件を含む広い生活環境要因との分析により、家族・地域とのつながりと健康との関係を総合的に評価する指標の開発を試みた。

「地域居住高齢者を対象とする家族・地域とのつながり及び健康状態」の調査より、異なる5地域の高齢者85名への聞き取り調査から、高齢者の家族、地域とのつながりは、対象者の年齢、性別、居住形態、地域特性、在職時の就業形態により、多様な形態をもつことを示した。

家族・親族とのつきあいでは、単身者において親族との会う機会や連絡を取る機会が、同居家族者のある対象者に比べて活発であり、家族・親族以外の知人、友人、趣味仲間とのつながりは、男性の高年齢者において多く、特に退職後男性において、知人、友人、趣味仲間との関係を活発化させていた。在職当時の就業形態と地域のつながりの関係においては、通勤時間の長かった退職後高齢者において、つきあいの種別、人数が少ないが、退職後の増加は通勤時間の短い層に比べて大きく、少なかった活動の種類、量を定年後に伸ばしている実態が明らかになった。退職後のつながりの広げ先として、男性は友人や趣味、女性は地域へと向かっていた。

地域のつきあいと健康状態については、先行研究においても示されているところであるが(Berkman, Morita)、本研究においては、近所づきあいの種類の多さと、よい健康状態との関連が示された。近所づきあいの種別、人数による健康状態への明確な因果関係と健康状態をサポートするつきあいの構成要素と関連要因については、今後の調査研究の課題である。健康状態、こころの健康に関与する「悩み事」の相談先の種類数は、近所づきあい活動の種類がおおいほど、相談先が多く、悩み事や心配事の相談を介しても、主観的健康感によるよい健康状態へ、間接的に関与するものと推察された。

「介護サービス・生活支援サービスの利用高齢者の家族および地域に交流関係とサービス利用」に関する調査では、介護サービスを行う専門職の回答に基づき介護サービス利用者414名について、サービス利用類型と交流形態について検証した。「地域居住高齢者を対象とする家族・地域とのつながり及び健康状態」では、対象者の年齢が65歳から74歳、かつ、介護認定者の割合が12.9%と比較的、身体機能レベルの高い高齢者を対象とした調査であったが、同じ地域条件で生活支援、介護サービスで受けることになった場合、どのような交流形態が観察されるのかについて検証を行った。単身者、認知症あるのケースでは、地域とつながりの持ち方に関連する項目におけるサービス利用が多い傾向にあるが、一部の項目では、簡単な日曜大工や庭仕事、対話・傾聴の項目にみられるように、夫婦のみの世帯において一人ぐらし世帯より、サービス利用が多いことが示された。

以上のことから、退職後高齢者のつながりの形成には、住まい方、在職時の働き方が複雑に影響しており、地域で生活支援が必要なる際には、つきあいの種別および量を維持するために、これらの要因を考慮したケアサポート体系、体制の構成を形成することが望ましいと考えられた。

## V. 謝辞

本研究は、全労済協会による研究助成によって行うことができました。この研究テーマに感心をよせてくださり支援していただいたことに心より御礼申し上げます。また、この調査にご協力くださいました調査対象地域住民、健康づくり推進員の皆様、介護サービスおよび生活支援サービスに携わる専門職の方々、お一人お一人に感謝申し上げます。

## VI. 参考文献

- Anderson D, Deshaies G and Jobin J. Social support, social networks and coronary artery disease rehabilitation : are revirew. *Can J Cardiol*, 1996 ; 12 : 739-44.
- Berkman LF, Syme SL. Social networks, host resistance, and mortality : a nine-year follow-up study of Alameda County residents. *Am J Epi* 1979 ; 109(2) : 186-204.
- Berkman LF and Kawachi I. *Social epidemiology*. Oxford University Press, 2000.
- Berkman LF, T. Glass, I. Brissette, T.E. Seemand. From social integration to health : Durkheim in the new millennium. *Soc Sci Med*. 2000 ; 51(6) : 843-857.
- Douglas A, Harris K. Network Analysis in Public Health : History, Methods, and Applications. *Ann Rev Pub Health*, 2007 ; 28 : 69-93.
- Fonagy P. Patterns of attachment, interpersonal relationships and health. *Health and social organization : towards health policy for the twenty-first century*, London : Rpitledge Press, 1996.
- MG Marmott. *Social determinants of health*. Oxford University Press, 2005.
- Morita A, Takano T, Nakamura K, Kizuki M, Seino K. Contribution of interaction with family, friends and neighbours, and sense of neighbourhood attachment to survival in senior citizens : 5-year follow-up study. *Soc Sci Med*. 2010 ; 70(4) : 543-9.
- Japan Aging Research Center. Survey on middle-aged and senior people about social participation 2009.
- L. Giles, G.F.V. Glonek, G.F. Glonek, M.A. Luszcz, G.R. Andrews. The effects of social networks on disability in older Australians. *Journal of Aging and Health*, 2005 ; 16(4) : 517-538.
- エイジング総合研究センター (JARC) 中高年の社会参加活動に関する調査2004.  
<http://www.jarc.net/?p=32>
- 内閣府国民生活局「平成18年度 国民生活選好度調査報告書」  
[http://www5.cao.go.jp/seikatsu/senkoudo/h18/18senkou\\_1.pdf](http://www5.cao.go.jp/seikatsu/senkoudo/h18/18senkou_1.pdf)
- 内閣府 市民活動団体等基本調査報告書 <https://www.npo-homepage.go.jp/data/report26.html>

# 資 料







■ 資 料

- (3) あなたは、在職時（退職5年前あるいは現在から5年前）の平日のおおよその帰宅時間は次のどれにあてはまりますか

1. ~18時
2. 18~19時
3. 19~20時
4. 20~22時
5. 22時以降

- (4) あなたは、在職時（退職5年前あるいは現在から5年前）の片道通勤時間は次のどれにあてはまりますか

1. 30分未満
2. 30分~1時間
3. 1時間~1時間半
4. 1時間半~2時間
5. 2時間以上

- (5) あなたの在職時（退職5年前あるいは現在から5年前）の1年間に、取得した年時給休暇の日数は次のどれにあてはまりますか。

1. 0日
2. 1-4日
3. 5-9日
4. 10日以上

- (6) あなたの在職時（退職5年前あるいは現在から5年前）の1年間に、取得した年時給休暇の日数は次のどれにあてはまりますか。

1. 0日
2. 1-4日
3. 5-9日
4. 10日以上

- (7) あなたの在職時（退職5年前あるいは現在から5年前）に、（あなたやご家族の病気等ではなく）自分自身の余暇や休息のための有給休暇を習得できていましたか

1. 取得できていた
2. まあ取得できていた
3. まったく取得できていなかった
4. 有給休暇を取得してまで、余暇や休息は必要なかった

●家族やご近所とのお付き合いについておたずねします  
(現在についてお答えください)

8 現在のあなたのご家族・親族との行動についてお答えください

(1) あなたは、次の項目について同居あるいは別に住んでいるご家族とどの程度一緒に行っていますか。(それぞれの項目についてあてはまるもの1つに○を付けてください)

	ほぼない	週1～2日	週3～4日	週5日以上
(ア) 対面での会話	1	2	3	4
(イ) 電話での会話	1	2	3	4
(ウ) メールでのやり取り	1	2	3	4
(エ) 食事	1	2	3	4
(オ) 外出	1	2	3	4

(2) あなたは、別に住んでいる親族の方とはどのようにお付き合いされていますか(あてはまるものにすべてに○を付けてください)

1. 週に1～2回以上会っている
2. 月に1～2回以上会っている
3. 週に1～2回以上、電話やメールで連絡をしている
4. 月に1～2回以上、電話やメールで連絡をしている
5. 正月やお盆などの年中行事のときに会う
6. 冠婚葬祭のときに会う
7. ここ数年連絡も取っていない
8. 別に住んでいる親族はいない

資料

現在のあなたの家族親族以外の方とのおつきあいについてお答えください

9 あなたは現在、次にあげる方々とどれくらいのお付き合いがありますか。

(それぞれの項目についてあてはまるものに○を付けてください)

	ない あてはまる人が い	週に1～2回以上 会っている	月に1～2回以上 会っている	週に1～2回以上 電話やメールで連 絡している	月に1～2回以上 電話やメールで連 絡している
(ア)近所の人	1	2	3	4	5
(イ)職場、仕事関係の人 (現在または在職時の)	1	2	3	4	5
(ウ)学生時代の友人や幼なじみ	1	2	3	4	5
(エ)子どもを通じての知人	1	2	3	4	5
(オ)趣味、スポーツなどの仲間	1	2	3	4	5

現在のあなたのご近所とおつきあいについてお答えください

10 次に挙げる項目にあてはまる近所の方のおおよその人数はどれですか

(それぞれの項目についてあてはまるもの1つに○を付けてください)

	いない	1～2人	3～5人	6～10人	11人以上
(ア)会った時には挨拶をする	1	2	3	4	5
(イ)立ち話をする	1	2	3	4	5
(ウ)数日家を空ける時には声を かける	1	2	3	4	5
(エ)地域の生活、居住環境につい て互いに相談、協力する	1	2	3	4	5
(オ)お茶や食事を共にする	1	2	3	4	5
(カ)物をあげたりもらったりす る(おすそ分け)	1	2	3	4	5
(キ)食事や余暇、旅行等を楽しむ 家族ぐるみの付き合いがある	1	2	3	4	5
(ク)葬儀の出席、手伝い	1	2	3	4	5

### 11 現在のあなたの地域における活動の参加頻度についてお答えください

(それぞれの項目についてあてはまるもの1つに○を付けてください)

	参加して いない	年 に 数 回	程 度 月 に 1 回	程 度 週 に 1 回
(ア)町内会・自治会	1	2	3	4
(イ)その他の地縁活動(婦人会、老人会、子ども会等)	1	2	3	4
(ウ)商工会・業種組合等の活動	1	2	3	4
(エ)地域の自主的サークル活動 (各種スポーツ、趣味、芸術文化活動等)	1	2	3	4
(オ)地域で活動するボランティア・市民活動、NPO	1	2	3	4
(カ)その他の活動(具体的に： )	1	2	3	4

### ●家族やご近所とのお付き合いについておたずねします

(退職5年前あるいは現在から5年前の状況について)

4(1)の就業形態について「1. 就業していない」、「2. 退職後に就業している」と答えた方は退職5年前の状況について、3. 就業している(定年等による退職無し)と答えた方は現在から5年前の状況についてお答えください。

### 12 退職5年前あるいは現在から5年前の、あなたのご家族・親族との行動についてお答えください

(1) あなたは、次の項目について同居あるいは別に住んでいるご家族とどの程度一緒に行っていましたか。(それぞれの項目についてあてはまるもの1つに○を付けてください)

	ほぼない	週1~2日	週3~4日	週5日以上
(ア)対面での会話	1	2	3	4
(イ)電話での会話	1	2	3	4
(ウ)メールでのやり取り	1	2	3	4
(エ)食事	1	2	3	4
(オ)外出	1	2	3	4

資料

(2) あなたは、別に住んでいる親族の方とはどのようにお付き合いされていましたが  
(あてはまるものにすべてに○を付けてください)

1. 週に1～2回以上会っていた
2. 月に1～2回以上会っていた
3. 週に1～2回以上、電話やメールで連絡をしていた
4. 月に1～2回以上、電話やメールで連絡をしていた
5. 正月やお盆などの年中行事のときに会った
6. 冠婚葬祭のときに会った
7. ここ数年連絡も取っていなかった
8. 別に住んでいる親族はいなかった

退職5年前あるいは現在から5年前のあなたの家族親族以外の方とのおつきあいについてお答え  
ください

13 あなたは、退職5年前あるいは現在から5年前次にあげる方々とどれくらいのお付き合い  
がありましたか。

(それぞれの項目についてあてはまるものに○を付けてください)

	ない あてはまる人が い	週に1～2回以上 会っていた	月に1～2回以上 会っていた	週に1～2回以上 電話やメールで連 絡をしていた	月に1～2回以上 電話やメールで連 絡をしていた
(ア) 近所の人	1	2	3	4	5
(イ) 職場、仕事関係の人 (現在または在職時の)	1	2	3	4	5
(ウ) 学生時代の友人や幼なじみ	1	2	3	4	5
(エ) 子どもを通じての知人	1	2	3	4	5
(オ) 趣味、スポーツなどの仲間	1	2	3	4	5

**退職5年前あるいは現在から5年前のあなたのご近所とおつきあいについてお答えください14**  
**次に挙げる項目にあてはまる近所の方のおおよその人数はどれでしたか**

(それぞれの項目についてあてはまるもの1つに○を付けてください)

	いない	1~2人	3~5人	6~10人	11人以上
(ア) 会った時には挨拶をする	1	2	3	4	5
(イ) 立ち話をする	1	2	3	4	5
(ウ) 数日家を空ける時には声をかける	1	2	3	4	5
(エ) 地域の生活、居住環境について互いに相談、協力する	1	2	3	4	5
(オ) お茶や食事を共にする	1	2	3	4	5
(カ) 物をあげたりもらったりする(おすそ分け)	1	2	3	4	5
(キ) 食事や余暇、旅行等を楽しむ家族ぐるみの付き合いがある	1	2	3	4	5
(ク) 葬儀の出席、手伝い	1	2	3	4	5

**15 退職5年前あるいは現在から5年前のあなたの地域における活動の参加頻度についてお答えください**

(それぞれの項目についてあてはまるもの1つに○を付けてください)

	参加していた	年に数回	月に1回程度	週に1回程度
(ア) 町内会・自治会	1	2	3	4
(イ) その他の地縁活動(婦人会、老人会、子ども会等)	1	2	3	4
(ウ) 商工会・業種組合等の活動	1	2	3	4
(エ) 地域の自主的サークル活動(各種スポーツ、趣味、芸術文化活動等)	1	2	3	4
(オ) 地域で活動するボランティア・市民活動、NPO	1	2	3	4
(カ) その他の活動(具体的に： )	1	2	3	4

● あなたの現在の外出頻度についておたずねします

16 あなたは、**ふだん**（仕事のある日も含めて）外出することがありますか

（この場合の外出は家のまわりの散歩など近所も含みます）

（あてはまるものに1つに○を付けてください）

1. 毎日必ず外出する	2. ほとんど毎日外出する	3. 週に2～3回外出する
4. 週に1回程度外出する	5. 月に2～3回外出する	6. ほとんど外に出ない

● あなたの健康についておたずねします

17 あなたの現在の健康状態はいかがですか

（あてはまるもの1つに○を付けてください）

1. 良い	2. だいたい良い	3. あまり良くない	4. 良くない
-------	-----------	------------	---------

18 あなたは現在**要介護認定**を受けていますか

（あてはまるもの1つに○を付けてください）

1. 受けていない	2. 要支援1	3. 要支援2		
4. 要介護1	5. 要介護2	6. 要介護3	7. 要介護4	8. 要介護5

19 **こころの健康**についてお答えください

(1) あなたは、日頃**ストレス**を感じることはありますか

（あてはまるものに○を付けてください）

1. まったくない	2. たまにある
3. しばしばある	4. いつもある

(2) あなたは、理由もないのに**気分が沈んだり**、**ゆううつな気持ち**になることはありますか

（あてはまるものに○を付けてください）

1. まったくない	2. たまにある
3. しばしばある	4. いつもある



## 20 あなたの悩み事や相談相手についてお答えください

- (1) あなたには今、悩み事がありますか  
(あてはまるものに○を付けてください)

1. ある	2. ない
-------	-------

↓

(1) で「1. ある」と答えた方におたずねします

- (2) 悩み事の原因は主に何ですか  
(あてはまるものすべてに○を付けてください)

1. 経済的なこと	2. 住居の居住環境
3. 家族・友人・近隣などの人間関係	4. 頼れる人がおらず一人きりの暮らしになること
5. 現在の自分の病気のこと	6. 現在の家族の病気のこと
7. 今後の自分の健康状態	8. 今後の家族の健康状態
9. 現在の家族の介護や生活の世話	10. 今後の家族の介護や生活の世話
11. その他 具体的にお書きください ( )	

### 以下は、すべての方におたずねします

- (3) あなたが困った時に相談できる相手は次のうちの誰ですか  
(あてはまるものすべてに○を付けてください)

1. 配偶者	2. 兄弟姉妹	3. 子ども
4. 親戚	5. 知人や友人	6. 近所の人
7. その他 具体的にお書きください ( )		
8. 特にいない		

これで質問はすべて終わりです。ご協力ありがとうございました。

# 保健福祉の向上を支える高齢期における 地域のむすびつきに関する調査

## 地域包括支援センター 代表者回答用

近年、家族・親族や地域とのつながりが希薄化し、高齢者の社会的孤立等の問題が浮上するなか、地域において適切に介護・医療サービスを利用するための、支援体制を整備する必要があります。

そこで、このたび、地域の高齢者ケアを担う事業所の専門職の方を対象に、高齢者が利用している保健・医療・福祉の支援と、地域における交流形態を把握することで、効果的な保健・医療・福祉の支援体制を検討するための調査を実施することといたしました。

この調査は無記名で回答いただくもので、個人の回答がそのまま公表されることはありません。本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

### 記入にあたってのお願い

この調査票は、事業所の利用者数に関する、代表者回答用のものです。

事業所の全体像が把握できる代表者等の方がご記入ください。

この調査票は両面です。

内容は、事業所における過去1カ月間の利用者の人数について、伺います。あてはまる数を記入してください。

### 【調査票の回収方法】

各事業所にて取りまとめ、同封の返信用封筒に入れ、下記住所へ 月 日までに送付下さい。

〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45

東京医科歯科大学大学院 国際保健医療協力学分野

### 【本調査の内容・記入法に関する問い合わせ先】

東京医科歯科大学大学院 国際保健医療協力学分野

Eメールアドレス [b5ith@tmd.ac.jp](mailto:b5ith@tmd.ac.jp)

事業所における過去1ヶ月間の利用者についてお伺いいたします。

問1 事業所における過去1カ月の利用者は、何人ですか。

人

問2 事業所における過去1カ月の利用者のうち、ひとり暮らしの利用者は、何人ですか。

人

問3 事業所における過去1カ月の利用者のうち、65歳以上の配偶者とふたり暮らし(高齢者夫婦世帯)の利用者は、何人ですか。

人

問4 事業所における過去1カ月の利用者のうち、認知症のある利用者は、何人ですか。

※「認知症のある」とは、認知症高齢者の日常生活自立度の、すべてのランクをさします。

人

問5 事業所における過去1カ月に担当した利用者のうち、次のような不利益や被害に遭ったことがある利用者は、何人ですか。(該当利用者がいない場合には、0人と記入してください。)

詐欺  人 窃盗  人 虐待・暴行  人

ご協力ありがとうございました

# 保健福祉の向上を支える高齢期における 地域のむすびつきに関する調査

## 地域包括支援センター 専門職回答用

近年、家族・親族や地域とのつながりが希薄化し、高齢者の社会的問題が浮上するなか、地域において適切に介護・医療サービスを利用するための、支援体制を整備する必要があります。

そこで、このたび、地域の高齢者ケアを担う事業所の専門職の方を対象に、高齢者が利用している保健・医療・福祉の支援と、地域における交流形態を把握することで、効果的な保健・医療・福祉の支援体制を検討するための調査を実施することといたしました。

この調査は無記名で回答いただくもので、個人の回答がそのまま公表されることはございません。

本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

### 記入にあたってのお願い

本調査票は、地域包括支援センターにおける、介護支援専門員、保健師、社会福祉士を対象にしたものです。また、この調査票は両面です。

調査内容は、あなたが過去1か月以上担当している利用者のうち、2ケース（認知症のある方、認知症のない方）について、伺います。質問は、その方の基本情報、介護保険サービス等の利用状況、生活の範囲を含みます。

- ・選択肢の質問については、あてはまるものに○印をつけてください。
- ・人数、年数を問う質問については、あてはまる数を記入してください。

### 【調査票の回収方法】

各事業所にて取りまとめ、同封の返信用封筒に入れ、下記住所へ 月 日までに送付下さい。

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

東京医科歯科大学大学院 国際保健医療協力学分野

### 【本調査の内容・記入法に関する問い合わせ先】

東京医科歯科大学大学院 国際保健医療協力学分野

Eメールアドレス [b5ith@tmd.ac.jp](mailto:b5ith@tmd.ac.jp)

**あなたが1か月以上担当している利用者についてお尋ねします。**

ケース1 (認知症のある方)

あなたが1か月以上担当されており、今月関わった利用者のうち、単身利用者あるいは65歳以上の夫婦世帯であり、認知症のある方(ランクは問わない)を、任意で1名を選び、その方についてお答えください。選定しかねる場合は、直近に担当された利用者とします。該当しない場合は、ケース2(認知症のない方)にお進みください。

問1 その方の世帯構成は、次のうちどちらですか。

**1 単身世帯      2 高齢者夫婦世帯**

問2 その方の年齢は、次のうちどれですか。

**1 60-64歳      2 65-69歳      3 70-74歳      4 75歳以上**

問3 その方の性別は、次のうちどちらですか。

**1 男性      2 女性**

問4 その方の現在の認定介護状況は、次のうちどれですか。

**1 要支援1      2 要支援2  
3 要介護1      4 要介護2      5 要介護3      6 要介護4      7 要介護5**

■ 資 料

問5 その方自身が、外出される目的と頻度について、それぞれの欄のあてはまるものに○印をつけてください。

外出目的	外出頻度			
買い物	1 週1回以上	2 月1回以上	3 なし	4 不明
外食・会食	1 週1回以上	2 月1回以上	3 なし	4 不明
医療機関への通院	1 週1回以上	2 月1回以上	3 なし	4 不明
配偶者等への付き添い	1 週1回以上	2 月1回以上	3 なし	4 不明
銀行や役所への手続き	1 週1回以上	2 月1回以上	3 なし	4 不明
家族、友人、親戚などの訪問	1 週1回以上	2 月1回以上	3 なし	4 不明
散歩	1 週1回以上	2 月1回以上	3 なし	4 不明
趣味・スポーツ活動	1 週1回以上	2 月1回以上	3 なし	4 不明
仕事	1 週1回以上	2 月1回以上	3 なし	4 不明
社会奉仕・ボランティア活動（NPO活動を含む）	1 週1回以上	2 月1回以上	3 なし	4 不明
その他：代表的なものを1つ記入	外出目的（ ） 1 週1回以上 2 月1回以上 3 なし 4 不明			

問6 その方が、現在利用されている介護保険サービスの利用頻度について、それぞれの欄のあてはまるものに○印をつけてください。

サービスの種類	利用頻度			
訪問介護	1 週2回以上	2 週1回	3 月1回以上	4 なし
訪問入浴介護	1 週2回以上	2 週1回	3 月1回以上	4 なし
訪問看護	1 週2回以上	2 週1回	3 月1回以上	4 なし
訪問リハビリテーション	1 週2回以上	2 週1回	3 月1回以上	4 なし
居宅療養管理（訪問診療・訪問歯科）	1 週2回以上	2 週1回	3 月1回以上	4 なし
通所介護	1 週2回以上	2 週1回	3 月1回以上	4 なし
通所リハビリテーション	1 週2回以上	2 週1回	3 月1回以上	4 なし
短期入所生活介護・短期入所療養介護	1 週2回以上	2 週1回	3 月1回以上	4 なし
その他：具体的にご記入ください。	サービス内容（ ） 利用頻度（ ）			

問7 その方が、現在利用されている介護保険サービス以外に、利用者の日常生活で、他者が手伝っている内容（有償、無償は問わない）と、頻度についてそれぞれの欄のあてはまるものに○印をつけてください。家族による支援は含みません。

内容	頻度			
配食	1 週1回以上	2 月1回以上	3 なし	4 不明
移送サービス	1 週1回以上	2 月1回以上	3 なし	4 不明
簡単な日曜大工や庭仕事（シルバー人材センター等）	1 週1回以上	2 月1回以上	3 なし	4 不明
家事代行サービス（掃除・洗濯・料理・ゴミ出し等）	1 週1回以上	2 月1回以上	3 なし	4 不明
傾聴・話し相手等の他者との交流	1 週1回以上	2 月1回以上	3 なし	4 不明
見守り（地域の手等）	1 週1回以上	2 月1回以上	3 なし	4 不明
その他：具体的に ご記入ください。	サービス内容（ ） 1 週1回以上 2 月1回以上 3 なし 4 不明			

問8 その方について、地域とのつながりにおいて、重視しているものに○印をつけてください。（上位3つ）

年齢	性別	性格	居住年数	経済力	疾患	歩行等の移動能力
元の職業	現在の地域での役割		趣味	地域や人とつながりを求める要望		
近隣の人との関係	家族関係	友人関係	その他（ ）			

### ケース2 （認知症のない方）

あなたが1か月以上担当されており、今月関わった利用者のうち、単身利用者あるいは65歳以上の夫婦世帯であり、認知症のない方を、任意で1名を選び、その方についてお答えください。選定しかねる場合は、直近に担当された利用者とします。





問14 その方が、現在利用されている介護保険サービスの利用頻度について、それぞれの欄のあてはまるものに○印をつけてください。

サービスの種類	利用頻度			
訪問介護	1 週2回以上	2 週1回	3 月1回以上	4 なし
訪問入浴介護	1 週2回以上	2 週1回	3 月1回以上	4 なし
訪問看護	1 週2回以上	2 週1回	3 月1回以上	4 なし
訪問リハビリテーション	1 週2回以上	2 週1回	3 月1回以上	4 なし
居宅療養管理（訪問診療・訪問歯科）	1 週2回以上	2 週1回	3 月1回以上	4 なし
通所介護	1 週2回以上	2 週1回	3 月1回以上	4 なし
通所リハビリテーション	1 週2回以上	2 週1回	3 月1回以上	4 なし
短期入所生活介護・短期入所療養介護	1 週2回以上	2 週1回	3 月1回以上	4 なし
その他：具体的にご記入ください。	サービス内容（ ） 利用頻度（ ）			

問15 その方が、現在利用されている介護保険サービス以外に、利用者の日常生活で、他者が手伝っている内容（有償、無償は問わない）と、頻度についてそれぞれの欄のあてはまるものに○印をつけてください。家族による支援は含みません。

内容	頻度			
配食	1 週1回以上	2 月1回以上	3 なし	4 不明
移送サービス	1 週2回以上	2 週1回	3 月1回以上	4 不明
簡単な日曜大工や庭仕事（シルバー人材センター等）	1 週2回以上	2 週1回	3 月1回以上	4 不明
家事代行サービス（掃除・洗濯・料理・ゴミ出し等）	1 週2回以上	2 週1回	3 月1回以上	4 不明
傾聴・話し相手等の他者との交流	1 週2回以上	2 週1回	3 月1回以上	4 不明
見守り（地域の手等）	1 週2回以上	2 週1回	3 月1回以上	4 不明
その他：具体的にご記入ください。	サービス内容（ ） 1 週2回以上 2 週1回 3 月1回以上 4 不明			

■ 資 料

問 1 6 その方について、地域とのつながりにおいて、重視しているものに○印をつけてください。(上位3つ)

年齢	性別	性格	居住年数	経済力	疾患	歩行等の移動能力
元の職業	現在の地域での役割	趣味	地域や人とつながりを求める要望			
近隣の人との関係	家族関係	友人関係	その他 ( )			

**最後にあなたご自身についてお伺いいたします。**

問 1 7 あなたが現在勤務している職種は、次のうちどれですか。

1	介護支援専門員	2	保健師	3	看護師	4	理学療法士
5	作業療法士	6	社会福祉士	7	訪問介護員	8	介護福祉士

問 1 8 問 1 7 で回答した職に従事してからの、継続経験年数は何年ですか。

年

問 1 9 あなたが過去 1 カ月に担当した利用者のうち、非公的サービスを利用している利用者は何人ですか。

※非公的サービスとは、介護保険サービス以外を指し、主に家族以外の住民主体(ボランティア・NPO法人等)または企業によるサービスをさします。

人

ご協力ありがとうございました

## 〈執筆略歴〉

清野 薫子 (せいの かおるこ)

東京医科歯科大学 大学院 国際保健医療協力学分野 講師  
博士 (医学)、修士 (医科学)

東京外語大学外国語学部南西アジア課程卒業、東京医科歯科大学大学院修士課程修了、同大学院博士課程修了。

主な論文：

- ・ Prevalence of and factors influencing posttraumatic stress disorder among mothers of children under five in Kabul, Afghanistan, after decades of armed conflicts. *Health and Quality of Life Outcomes* 6 : 29 ; 2008.
- ・ Bacterial quality of drinking water stored in containers by boat households in Hue City, Vietnam. *Environmental Health and Prevent Medicine* 13 : 198-206 ; 2008.

---

退職後勤労者の家族および近隣との「つながり」と  
高齢期の健康状態に関する調査研究

2013年5月

発行 ■ (財)全国勤労者福祉・共済振興協会  
〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-11-17  
ラウンドクロス新宿5階  
TEL：03-5333-5126  
FAX：03-5351-0421

印刷 ■ 株式会社プライムステーション

---

# 全労済協会「公募研究シリーズ」既刊報告誌

(所属・役職は発行当時です。)

## ⑳ 『非自発的孤立・無縁ゼロ社会創成のためのセーフティネット設計』 2013年5月

大阪大学社会経済研究所・特任研究員 青木 恵子、東京大学大学院工学系研究科技術経営戦略学専攻・特任研究員 赤井 研樹

- 貧困や失業だけでなく、社会における人々の相互依存関係からも脱落する「社会的排除」が問題視されるようになって久しい。本研究では、ペアや集団による協働作業の実験等を通して孤立に至る要因を解明し、社会的なつながりについて金銭価値での計測を試みる。また、孤立・無縁を防ぐ試みの施策を検証し、社会的孤立状態からの脱却に向けて提言する。

## ㉑ 『インターネット上の社会関係資本に基づく地域社会政策』 2013年1月

早稲田大学大学院経済学研究科博士後期課程 軍司 聖詞

- 絆のほころびが社会問題となっている現代、特に深刻であるのが地域社会で孤立しやすいとされている若者である。多くの若者は現実社会ではなく、インターネット上に絆を広げているという現状がある。本研究では、インターネット上に絆を広げる若年層の交流状況を分析し、若年層も巻き込んだ地域づくりを行うための地域社会政策を考察する。

## ㉒ 『福祉NPOと地域自治組織の連携システムに関する調査研究』 2012年12月

大阪市立大学都市研究プラザ特別研究員 栗本 裕見、関西大学社会学部教授 橋本 理

- 行政が供給する「行政サービス」ではなく、行政とともに地域住民やNPO、企業を担い手とする「公共サービス」充実のための「地域自治組織」が注目されている。「地域自治組織」における自治体と住民組織の関係、地域組織間の関係の現状を調査を基に分析することにより、地域自治組織の課題と展望を明らかにする。

## ㉓ 『地域通貨を活用したコミュニティ・ドックによる地域社会の活性化』 2012年10月

研究代表者:北海道大学大学院経済学研究科教授 西部 忠

- グローバル化が急進する現在、経済的・社会的・文化的な諸問題を解決する媒体として、地域通貨が注目されている。本研究では、地域通貨を活用したコミュニティ・ドックの手法を採り、地域経済・社会の現状を多面的に把握し、改善に向けた処方箋を提示する。そして、地域通貨の実践的な導入と活用、総合的かつ内発的な地域診断手法について提言する。

## ㉔ 『社会的企業の社会的包摂機能の戦略的社会基盤整備の制度化に関する日英比較研究』 2012年8月

明治大学経営学部教授 塚本 一郎

- 社会的企業に期待されている役割には、社会的排除下にあるグループを対象とする雇用機会の創出等がある。しかし、わが国では労働統合型といわれる社会的企業の制度化は発展途上であり課題が山積している。本研究はわが国の労働統合型社会的企業が社会的包摂機能を発揮するための課題と展望について、英国の先進事例との比較により明らかにする。

⑳ 『次世代育成支援行動計画における地域子育て支援事業の評価に関する研究』 2012年6月

滋慶医療科学大学院大学専任講師 小野セレスタ摩耶

- 次世代育成支援事業のうち近年事業拡大と充実の傾向が著しい「地域子育て支援に関する事業」について、地域住民による事業評価の実施を目指して、事業の各利用者に対する有効性や効果・満足度等を評価する方法を研究し、利用者評価ツールを開発・作成した。利用者評価を推進する上での留意点、評価結果の活用の意義と重要性について考察する。

㉑ 『女性ホワイトカラーの保育環境としての地域社会の課題と展望 ～企業福祉との役割分担～』 2012年5月

奈良女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程 川上 千佳

- 日本の保育は地域社会の認可保育所が主流だったが、近年、保育サービスは公共部門だけでなく、企業内保育所など多様な主体と共に担っていく流れにある。本研究では、女性ホワイトカラーの家庭と仕事の両立を調査し、企業等のインタビュー調査により子育て支援活動の実態と意識を紹介し、今後の地域における子育て支援のあり方について考察する。

㉒ 『地域福祉を支える寄付の仕組みに関する研究』 2012年1月

(独)国立高等専門学校機構明石工業高等専門学校一般科目・講師 石田 祐、大阪大学社会経済研究所特任助教 奥山 尚子

- 地域社会では福祉需要の多様化により、財政事情等を抱える行政に代わり、地域課題に取り組むNPOや自治会等諸団体の活動に期待が高まっているが、財政基盤が脆弱なため、寄付・会費を促進する方策が求められる。本研究ではアンケート調査を通して、寄付行動に影響を与える要因を分析し、寄付等の仕組みづくりへの可能性について述べる。

㉓ 『保育サービスを中心とする子育て支援政策の国際比較行財政論

～スウェーデン、イギリスの実態と日本の改革論議への示唆～』 2011年12月

新潟県立大学国際地域学部准教授 高端 正幸、横浜国立大学経済学部准教授 伊集 守直、東北学院大学経済学部講師 佐藤 滋

- 1990年代以降日本では少子化対策を中心に子育て支援政策が進められてきたが、本研究では、スウェーデン、イギリスとの国際比較を通して、子育て支援政策の展開や行財政論についての基本的論点を考察する。そして日本における子育て支援政策とその改革論議—政策意図や地域における子育て支援—へ向けた視座を示す。

㉔ 『自主防災組織活性化による福祉コミュニティ再生の課題と展望』 2011年12月

高知大学総合教育センター准教授 玉里 恵美子、高知大学人文学部准教授 霜田 博史、高知大学総合教育センター准教授 大槻 知史

- 各地域で自主防災組織活動が展開されているが、住民意識が高いとはいえない。本研究は、高知県下の自主防災組織活動へ取り組みを実践研究し、コミュニティにおいて「防災・減災」を起点として地域の日常の福祉へと繋げ広げていく視点の重要性を述べ、今後の自主防災活動とコミュニティ再生を展望する。

㉕ 『日本における中山間地域の活性化に関する地域マネジメント研究

～経営学・マーケティング・ケアの視点から～』 2011年7月

立命館大学経営学部教授 守屋 貴司、教授 佐藤 典司、立命館大学スポーツ健康科学部教授 三浦 正行

㉖ 『社会連帯組織としての非営利・協同組織（協同組合）の再構築』 2011年5月

関西大学商学部教授 杉本 貴志

㉗ 『ポスト福祉国家の時代における共生社会の可能性とベーシック・インカム論』 2010年12月

神戸大学大学院法学研究科教授 飯田 文雄

**全劳济协会**